

第九十回帝國議會 衆議院 特別都市計畫法案會議錄(速記)第三回

付託議案

特別都市計畫法案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十一年七月十七日(水曜日)午前
十時三十分開議

出席委員

委員長 林田 正治君

委員 仙八君 西村 久之君

水田三喜男君 佃 良一君

細川八十八君 前田榮之助君

鹿島 透君 原尻 東君

中田榮太郎君

出席政府委員

戰災復興院總裁 阿部美樹志君

內閣事務官 財津 吉文君

內閣事務官 大橋 武夫君

內閣事務官 中田 政美君

內務事務官 岩澤 忠恭君

文部事務官 日高第四郎君

本日ノ會議ニ付シタル議案

特別都市計畫法案(政府提出、貴族院送付)

○林田委員長 是ヨリ委員會ヲ開キマス、通告順ニ依ツテ質問ノ許シマス——

中田榮太郎君

○中田委員長 最初ニ復興全體ニ關スル問題カラ質問サセテ戴キタイト思フノデアリマス、國家ノ再建ノ所謂中核、或ハ主要問題デアル所ノ戰災都市ノ復興事業ハ、今日マデノ所唯一ツノ、而モ此ノ數ノ少イ委員會ニ付託セラレテ居ル所ノ特別都市計畫法案ヲ通シテバカリ、唯是ノミヲ通シテ今期議會ノ間

題デアルト云フコトハ、私ハ此ノ復興ノ大問題、而モ一箇年ヲ經過シテ餘リニモ進捗シナイ此ノ至難ナ事業、之ヲ比較的輕ク或ハ冷淡ニ取扱ハレテ居ルノデハナイカ、斯様ナ感情ヲ持ツノデアリマス、洵ニ不満足ノ至リデアアルデアリマス、百二十餘ノ大中市市災害戶數ガ二三百五十萬戸モアリ、又災害戶數ガ一億七千五百萬坪、災害ニ喘ギツ、アル者ハ實ニ全人口ノ大約五分ノ一、即チ一千五百萬、是ハ唯數字ノ上デハアルケレドモ、異多イコトデアアルガ宮城ヲ始メ奉リマシテ、國トシテ、又都府縣トシテ共ニ其ノ腦ヲ打碎カレテ居ルノデアリマス、頭部ヲ始メ人體ノ要所々々ハ、悉ク其ノ全機能ヲ消失ニ近カラシメラレテ居ルノデアアルト思ハレルノデアリマス、斯様ナ現狀ニ對シマシテ尙且ツ此ノヤウナ取扱ハレ方、或ハ此ノヤウナ施策デ宜イノデアラウカドカ、之ニ對スル御所信ヲ承リタイノデアリマス

第三、何レノ戰爭ニ於キマシテモ最モ大ナル被害者ハ常ニ學校ノ子供デアリマス、青少年デアルト私ハ斷言スルノデアリマス、而モ國家再建ニ際シテ先ヅ第一ニ之ヲ救ハネバナラヌノデアリマス、即チ彼等ヲ學バンメル所ノ數多キ難民學校、殊ニ國民學校ノ復興ニ付テハ、蠲ニ文部省カラ積極的復舊補償ニ對シマシテ各方面共相當力ヲ入レテ、立上リノ色ヲ手配ヲ致シテ居ツタノデアリマス、併シ遂ニ其ノ手掛リヲ失ハレ、トドノ詰リハ大藏省カラ復興院ニ其ノ「バトン」ハ譲リ渡サレタノデアリマス、最後ニ僅カバカリノ利子ノ補給ニ止マルト聞イテ居ルノデアリマスガ、其ノ真相ヲ承リタイ、又瞭リヤウナモノデアルトスルナラバ、果シテ新憲法ニ示サレテ居ル所ノ所謂教育ノ強度ノ義務化、或ハ尊キ權利トシテ教育ヲ受ケシメルコト、是ガ果シテ十分ニ實現シ得ルモノデアラウカドカ、是モ御所見ヲ承リタイノデアリマ

第四、傳染病院或ハ市民病院、其ノ他保健施設ハ戰災地トシテ最モ大切ナ且ツ厚生救護ノ優先ノ主要問題デアルト思ハレルノデアリマス、政府ハ斯レナ問題ニ付テ積極的ナ施策ヲ講ジツ、アラレカドカウカ、又國庫負擔等ニ付テノ程度等モ承リタイノデアリマス

第五、住宅營團ハ其ノ創立ノ精神ニ於キマシテ、又其機構或ハ事業遂行ニ於テ最モ國民ノ信頼ノ的トナツテ居ルベキ管デアリマス、終戰以來戰災復興ノ假設住宅ノ建設受託ノ實情ニ付キマシテ、芳シカラザル實情ニアルコトハ、去ル十一月ノ本會議ニ於ケル決議案贊成演說ノ中ニモ現ハレテ居ルガ、又私共自身ガ戰災地ノ眞ツ只中ニアリマシテ受ケツ、アル所ノ苦難體カラノミ申上ゲルダケデモナイノデアリマス、詰リ他ニ多クノ實例ガアルノデアリマス、昨年終戰後間モナク縣當局カラノ通牒ニ依リマシテ、申込約東ヲシタモノガ、其ノ後次々豫約ノ建設費ガ著シク引上ゲラレマシテ、遂ニ約二倍位ニナツタノデアリマス、而モ五月ニ入リマシテ豫メ相當額マツタ額ノ新圓ノ前以テノ直納ヲ要セラレマシテ、更ニ最近ニ於キマシテハ先方ノ方カラ始メ破約宣告ノ狀態ニ至ツテ居ルノデアリマス、終戰直後デアアルナラバ、色々方法ヲ以テ建設スルコトモ出來タノデアリマス、待ナニ待セタ揚句、如何トモ致シ難キ狀態ニ立至ラシメマシテ、我々ハ今ニ於テ「トタン」ノ獨立小屋ノ中ニ喘ギツ、アルコトハ、洵ニ私ノミデナク數多イノデアリマス、斯様ナ實情ニ付キマシテハ既ニ或ル程度御承知ノコトトハ思ヒマスルガ、此ノ儘ニシテ已ムヲ得ズシテ放置シテ置カネバナラヌノデアリマスルカ、或ハソレニ對シテ適當ナ具體的對策ニ及バ、ノデアリマスルカ、其ノ點ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

第六番目、何處ノ都市モ戰災復興ノ財政運営ハ最モ難關ノ所デアリマスルガ、之ニ關シテ例ヘバ富饒或ハ實業ノヤウナモノヲ許シテ、復興事業費ノ調達ヲ圖ラシムル所ノ御考ヘハナイカ、

又戰災者ニ對シテ小口資金ノ供給ヲナス御考ヘハナイカ、以上戰災復興ノ全體ノ問題ニ付テ、先ヅ其ノ六箇條ヲ御尋ネ申シタ次第デアリマス、都市計畫ノ具體問題ハ是マデノ御答ヘヲ得マシテ、又引續イテヤラセテ戴キマス

○阿部(美)政府委員 御答ヘ致シマス、元來此ノ都市計畫其ノモノニ付キマシテハ、技術的ナ面トソレカラ法律的ナ面トアルコトハ既ニ御承知ノコトデアリマスガ、此ノ技術的方面ヲ強力ニ裏付ケル爲メ法的措置ガ必要ナルノデアリマスガ、技術的方面ハソレノ專門的知識ト經驗、或ハ内外ノ諸例ヲ採入レマシテ、都市ノ現狀ニ鑑ミテ相當遠イ將來ノ發展性ト云フモノヲ見込ミ、科學的ニ又能率的ニ立案計畫ヲシテ居ル次第デアリマシテ、今日マデ戰災都市ノ大半ノ計畫ヲ終ツタ次第デアリマス、其ノ方法ト致シマシテハ過去數十年間ノ人口ノ推移ヲ統計的ニ調査スルコトハ勿論、産業、工業ナドノ立地條件、將來ノ發展性、是等ガ將來交通運輸ニドウ云フ關係ヲ及ボスカ、又住宅問題トノ關係、商業トノ關係、更ニ河川、港灣、鐵道ナドノ關聯ナドヲ一々綿密ニ調査研究ヲ致シマシテ、將來都市ト致シマシテ、萬遺憾ノナイヤウニ、都市面積比例配分ノ技術的事項ヲ社會的、經濟的、肉體的構造ニ適應スルヤウニ只今立案計畫致シテ居リ、又致シタ次第デアリマス、要スルニ最近ノ科學技術ノ異常な發達ニ即應致シマシテ、工業、商業、公衆衛生、建築方面、交通、防災ナドニ互

リマシテ、人類ノ活動上萬遺憾ノナイヤウニ計畫ヲ進メテ居ル次第デアリマス、此ノヤウニ都市計畫ヲ立テマシテ、都市計畫委員會ノ議ニ付シテ決定ノ上、之ヲ都市計畫事業トシテ實行ニ移スデアリマスガ、今回ノヤウニ仰セノ如ク、全國百二十餘ノ都市ガ前古未曾有ノ戰災ヲ被リマシテ、御話ノ如ク住ムニ家ナキ國民ニ對シマシテハ、一刻モ早く土地區劃整理ノ實行ヲ致シマシテ、從來ノヤウナ「バラック」デハナク、少クとも本建築ヲシテ、正當ノ業務ト住居トヲ確保スルヤウニ致スコトガ、刻下ノ急務中ノ急務デアルト存ズル次第デアリマス、隨ヒマシテ此ノ區劃整理事業ヲ極メテ迅速ニ、且ツ強力ニ、又徹底ノ實行スル爲ニ、今回ノ特別都市計畫法ヲ必要トスル次第デアリマス、即チ法的處置ニ依リマシテ元ノ軍用地、軍需工場跡地、公共用地、官有地等ヲ無條件ニ土地區劃整理地區内ニ編入致シマシテ、民生上又保健上、防災上カヲ必要トスル綠地トカ公園、菜園地ハ勿論、擴大サレテ行キマス所ノ街路トカ、過小宅地等ノ用途ニ充テルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、學校ノ地方分散ニ付キマシテハ、只今内務省及文部省ト案ヲ立テマシテ協議中デアリマス、或バク早イ機會ニ之ヲ實現致シタイト存ジテ居リマス、ソレカラ御話ノ住宅建設ノ具體的方法デアリマスガ、是ハ我々ト致シマシテハ非常ニ其ノ責任ヲ痛感致シマシテ、或ベク此ノ燒失或ハ罹災家屋ノ再建ヲ急速ニ圖リタイト思フデアリマス、是ハ罹災及ビ疎開家屋ハ約三百萬戸ニ近イモノデアリマシテ、今日マデ不急ノ爲ニ建設ヲ抑制シテ參リマシタ住宅之ヲ或ベク早く

再建シナケレバナラヌ、サウ云ウモノヲ合ハシマシテ大約四百三十萬戸ニ上ルデアリマスガ、之ヲ十年計畫——是ハ少シ氣長イヤウニ感ジマスガ、資材其ノ他ノ關係上十年計畫ト致シマシテモ、相當ナ資材ヲ要スル次第デアリマス、假ニ四十三萬戸ヲ年々建テルコトニ致シマスレバ、其ノ木材ダケデモ年々三千八百萬石程ヲ必要トスルデアリマシテ、是ハ我國ノ山林行政ト申シマスカ、又伐採石數カラ云ヒマシテ過半ノ量ニ當ルデアリマシテ、其ノ量ハ到底此ノ住宅建設ノミニ振向ケルコト云フ譯ニハ參リマセヌノデ、今年ハ已ムヲ得ズ二十五萬戸ノ建設ト云フコトニ、政府ハ案ヲ立テタ次第デアリマス、其ノ内容ト致シマシテハ、内十二萬四千戸ガ計畫住宅デアリマス、アト十二萬六千戸ト云フノガ民間で自發的ニヤリマス數計ト推定シテ居リマス、其ノ十二萬四千戸ノ中五萬戸ガ庶民住宅トナツテ居リマシテ、其ノ他ハ農地ノ開發住宅、石炭炭務者ノ住宅、サウ云フモノニ振向ケテ居ル次第デアリマス、最後ニ御尋ネノ、財政ノ一方法ト致シマシテ、富饒ノ方法モ考慮致シマシテハドウカト云フ點デゴザイマスカ、此ノ問題ハ現在調査研究ヲ進メテ居ル次第デアリマス

○中田委員 引續キ更ニ具體問題ニ入りタイト思ヒマスガ、只今ノ御答ヘノ中ニ満足ノ出來マスモノモアリマスケレドモ、私ハ具體問題ニ付テ御尋ネ致シタデアリマスルガ、御答ヘハ、ドチラカト云ヘバ一般論ニ拜承シタデアリマス、併シハ是ダケニ致シテ置キマセウ

今度ハ、都市計畫ニ比較的直接關係アル問題ヲ四、五挺ヘテ御尋ネ致シタイト思フデアリマス、第一ハ、都市計畫ノ實際ヲ色々ナ方面カラ眺メテ見マスルト、兎角都會ノ中心、都心ニ重キヲ置カレマシテ、先ヅ之ヲ先ニシ、ソレカラ外部、郊外方面ヲドチラカト云ヘバ輕シテ後述シスルヤウナ風ガアルデアリマス、隨テ都市ノ難然タル發達ヲ來シマシテ、遂ニ收拾スルコトノ出來ナイヤウナ狀況デアルコトハ、既ニ御承知ノ通りデアリマス、色々果或ハ輸送機關等ニ至リマスマデモ勘案セラレマシテ、周圍線ト申シマスカ、時ニハ二重三重ノ環狀線、斯ウ云フモノヲ考ヘ合セラレマシテ、計畫ヲ進ムベキデアラウト私ハ思フデアリマス、東京都ヲ初メト致シマシテ、全國ノ燒失都市計畫ノ一端ヲ伺ヒマス、何レモ此ノ感ガアルデアリマス、之ニ對シマシテ大體ドノヤウナ指導方針ヲ執ツテ居ラレマスカ、其ノ實相ヲ承リタイデアリマス、第二ハ、綠地、公園ナドニ全地域ノ〇〇%以上モ充テラレル方針デアルコトハ、是ハ洵ニ結構ナコトデアリマスガ、之ヲ容易ナラシメル爲ニ、軍用地其ノ他公用地ヲ無償下附シテ、民有地ハ之ヲ買収スルト云フコトニシテハドウデアルカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス、第三ハ、區劃整理ノ八割補償、是ハ洵ニ結構ナコトデアリマスルガ、寧ろ有償ノ精神ニ基イテ、一步進メテ全部有償ニシテハ如何デアリマセウカ、道路ノ七割五分ト云フ補償ニ付キマシテモ、同様セウ一步進メラレテハ如何カ、斯様ニ思フデアリマス、第四、上水道及ビ下水道ハ、罹災地ニ對シマシテハ優先的ニ獎勵スベキモノデアルト思ヒマスガ、ソレニ關スル國庫助成ノ程度、又其ノ程度ヲ更ニ増額ス

ル御考ヘハナイカドウカ、次ニ第五、從職員ノ俸給ハ兎角斯ウ云フ場合ニハ事業費ノ中カラ出サレルノデアルガ、寧ろ是ハ事業費以外ニ別途ニ計上セラレマシテハドウデアルカ、次ニ第六、過小借地ノ限度又ハ凡ソ三十坪ノ原則トシテ居リマスルガ、其ノ實際上ノ運營ハ如何様ナモノデアリマスルカ、都市又同ジ都市ノ中ニ於テモ色々程度ノ差ガアリマセウカ、其ノ所謂程度ノ幅ト云フモノニドノ程度見積ツテ居ラレハ都市區劃整理委員會ニ於テ考慮スベキモノデアルカドウカ、是ガ第六デアリマス、以上御答辭願ヒタイト思ヒマス

○大橋政府委員 最初ニ御質問ニナリマシタ都市計畫ノ指導ハドウ云フ方針デヤツテ居ルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、政府ト致シマシテハ、今回ノ戰災區域ガ、北北海道カラ南ノ鹿兒島マデ及ビマス殆ド全國ニ亙ツテ居リマス點ヲ考ヘマシテ、關東震災當時ニ帝都復興院ヲ作リマシテ、政府ノ直轄ノ事業トシテ復興事業ヲ計畫シ、又實施致シマシタヤウナヤリ方デハ、實際ノ上可ナリ困難ガ豫想セラレマシタ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ今回ノ都市計畫ニ於ケマシテハ、地方機關即チ府縣廳或ハ市町村ト云フモノニ、此ノ立案並ニ計畫ノ實施ニ付テノ責任ヲ持タス方針ヲ採ツタ譯デゴザイマス、隨ヒマシテ都市計畫ハ、實質的ニハソレノ、市町村、或ハ市町村ニ於テ困難ト致シマス場合ハ其ノ關係ハ府縣廳ガ當リマスガ、是等ノ市町村又ハ府縣廳ニ於ケマシテ現地ノ實情ヲ十分ニ調査シテ、サウシテ現地ノ市民、府縣廳ノ豫テノ理想ナリ希望ナリト云フモノヲ此ノ計

畫ノ上ニ反映サセテ行ク、特ニ全國一律ノ計畫ト云フコトニナラナイデ、ソレノ其ノ都市其ノ都市ニ應ジマシタ都市ノ個性ト云フモノガ、都市計畫ノ上ニ活キタ所謂郷土色ノ豊カナ都市計畫ヲ作ラセルト云フ風ナ方針ヲ指導ヲ致シテ參ツテ居ル次第デゴザイマス、固ヨリ此ノ地方ノ創意ト云フモノヲ主トシテ活力シテ行ク譯デゴザイマスガ、併シソレニ致シマシテモ、今回ノ罹災地等ニ於ケマシテハ、今後ノ都市ニ於ケル建築物ト云フモノハ、段々將來ノ木造カラ所謂不燃建築物、即チ鐵筋コンクリートノ建築物ニ變ツテ行ク、又サウ云フモノガ漸次増加シテ行クト云フコトガ豫想セラレマス、隨ヒマシテ道路ノ幅ヲ擴ゲルコトカ、或ハ綠地ヲ作ルト申シマシテモ、「コンクリート」ノ建築物ガ出來マシタ後ニ之ヲ取拂ツテ道ヲ擴ゲルト云フヤウナコトハ困難デゴザイマス、恐ラク斯ウ云フ風ナ思ヒ切ツタ都市計畫ヲ致シマスニハ、今度ノ機會ハ我國ノ都市トシマシテハ最後ノ又最善ノ機會デアルト云フコトガ察知セラレマスヤウナ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ、政府ト致シマシテハ、地方ノ創意ヲ其ノ都市計畫ノ上ニ活カサレマスルト同時ニ、今日ノ時勢トシテ、又今後ノ都市ト致シマシテ、必要ト豫想セラレマスル道路ノ幅員ナリ或ハ宅地ノ區劃ノ整理ナリ、又綠地ナリ、又各般ノ土地ノ利用計畫ト云フヤウナモノニ付キマシテ、全國ヲ通ジマシテ或ル程度ノ基準ト云フモノヲ設ケテ居リマス、此ノ復興方針ニ付キマシテハ先般資料ト致シマシテ、昨年十二月ニ閣議決定ニナリマシタ戰災都市復興計畫基本方針ト云フモノヲ御手許ニ配付致シテゴザイマス、ソレニ

依ッテ詳細ノ御覽ヲ願ヒタイト存ジマ
ス

ソレカラ次ニ官有地ヲ無償デ下附シ
テハドウカト云フ點デゴザイマス、今
同ノ土地區劃整理ニ於キマシテ、非常
ニ民有地ノ減少ガ増シマスル關係上、
是ノ振替テ致シマシテ、練兵場、軍用
地、其ノ他今後ノ國情ニ鑑ミマシテ、
官有地デ相當用途ヲ變ヘルコトガ出來
ルヤウニナリマスルモノガ出デ參ッ
次第デゴザイマシテ、是等ニ付キマシ
テハ出來得ル限り之ヲ區劃整理區域ノ
中ニ編入致シマシテ、ソレニ依ッテ出
來ルダケ民有地ノ減少ヲ減シテ行ク
云フコトヲ計畫致シテ居ルノデゴザイ
マス、之ニ關シマシテハ本法案ノ中ニ
モ其ノ規定ヲ設ケマシテ、從來官有
地、公有地、國有地、御料地ト云フヤ
ウナモノハ、原則トシテ土地區劃整理
區域ノ中ニハ編入シテナカッタノデゴ
ザイマスルガ、今回ハ之ヲ編入スルコト
ニ致シタ次第デゴザイマス、唯其ノ編
入ニナリマシタ官有地ノ價格ヲ無償ニ
スルコトハ云フ點デゴザイマス、
此ノ點ハ國ノ一般財政トノ關係モ
ゴザイマスルノデ、只今ノ所デハ無償
ト云フコトハ考慮致シテ居ラナイヤウ
ナ次第デゴザイマス

イマシテ、此ノ補助率ハ關東大震災當
時ノ是等ノ事業ニ對スル補助率ヨリモ
上廻ッタ補助率デゴザイマシテ、國庫
ト致シマシテハ、相當今回ノ都市計畫
ノ特別ノ事情ニ鑑ミマシテ、是ダケ前
同ノ關東大震災當時ヨリハ増シテ居ル
ヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ水
道、下水道ノ補助率デゴザイマスルガ、
水道事業ノ率ハ三分ノ一、下水道ニ對
シマシテハ三分ノ二ト云フ補助率ニ相
成ッテ居リマス、是モ色々ナ點ヲ勘案
致シマシテ是ダケノ率ニ決定サレタノ
デアリマスルガ、特ニ水道、下水道ニ
於キマシテハ、事業ニ伴フ收益ガアル
譯デゴザイマシテ、是等ノ點モ考慮シ
タ上デ此ノ率ガ決定サレタ次第デゴザ
イマス

ソレカラ第五番目ニ御尋ネニナリマ
シタ事務費ト事業費ト別々ニ組ンダラ
ドウカ、從來事業費ノ中カラ支辨サレ
テ居ッタ事務費ヲ別途ニ組ムヤウニシ
テハドウカト云フ點デゴザイマス、
是ハ事業ノ補助率ナリ、或ハ事業全體
ノ經費ヲ勘案致シマスル際ニ、事業費
ノ中ニ含メルト云フコトハ考慮ニ入
レタ上デ、斯様ナ率ナリ、又額ガ決定サ
レタ次第デゴザイマス、只今ノ所デハ
事務費ダケニ付テ別途ニ補助スル
云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○財政說明員 最後ニ宅地ノ最小限度
三十坪トシテアルガ、是ハ土地ノ狀況
ニ依ッテ幅ヲ設ケルモノチヤナイノ
カ、斯ウ云フ御質問ダツタと思フノデ
アリマス、宅地ノ最小限度ヲ三十坪ト
致シマシタノハ、宅地ノ利用或ハ保健
衛生、防火、防災ト云フヤウナ見地カ
ヲ見マシテ、宅地ト致シマシテハセメ
テ少クトモマア此ノ程度ノ坪數ハアッ
テ欲シイト云フ、其ノ最小限度ヲ示シ
タモノデアリマシテ、隨ヒマシテ地方
ノ狀況ニ依リマシテ、キツト此ノ限度
ヲ高メルコトガ出來ルト云フヤウナ場
所ニ置キマシテハ、ソレ以上ニ高メル
コトガ望マシイノデアリマス、隨ヒマ
シテサウ云フ方針ヲ地方ニ對シテハ示
ス積リデアリマス、其ノ場合ニ問題ト
致シマシテ、然ラバドノ程度マデ高メ
ルコトガ出來ルカト云フコトハ、是ハ
土地區劃整理委員會ト云フモノガ各地
方ニ出來マスルノデ、其ノ委員會ニ於
キマシテソレレ、其ノ土地ノ實情ニ即
シテ定メルコトニナツテ居リマス

○中田委員 今ノ二點ニ對スル御答ヘ
ハ結構デアリマス、最後ニ御尋ネ申上
ゲタイノハ、十一日ノ本會議ニ於キマ
シテ、戰災復興促進決議案ヲ滿場一致
ヲ以テ可決致サレテ居ルノデアリマス
ガ、其ノ際吉田總理ハ特ニ發言ヲ求メ
ラマシテ、本日ノ決議案ニ依リ諸士
ノ協力ヲ得タノ機會ニ一層努力ス
ル、斯様ナ御話デアッタノデアリマス
ルガ、我々ハ之ヲ水泡ニ歸シタクナ
リ、言葉ダケニ歸シタクナイト云フコ
トハ、お互ヒニ特ニ考ヘテ居ルコトデ
アリマスガ、之ニ對シマシテ考究中、
或ハ立案ヲ進メ、或ハ何カ進行中ノヤ
ウナコトデモデアリマスレバ、具體案ヲ
承リタイノデアリマス

○岡部(美)政府委員 只今ノ、御尋ネ
ニ對シテ、御答ヘ致シマス、事業ト致
シマシテハ都市計畫事業、住宅問題、
其ノ他戰災復興院ト致シマシテハ相當
ノ範圍ニ實施スベキコトヲ持ッテ居ル
ノデアリマスガ、只今都市計畫事業ナ
リ、住宅問題ナリニ對シマシテ立案シ
テ居リマスコトヲ各省トモ能ク協議ヲ
致シマシテ、速カニ實行ノ出來マスヤ
ウニ推進致シタイト存ズル次第デアリ
マス、一例ヲ申シマス、約二十年前
ノ震災後、非常ニ多ク「バラック」
建築ガ出來タノデアリマスガ、ソレガ
因トナリ果トナリマシテ、今回ノ戰災
モ亦非常ニ災害ヲ大キクシタノデアリ
マス、我々ト致シマシテハ、ドウシテ
モ斯ウ云ツタヤウナ災害ハ未然ニ防
止スルヤウニ施策ヲシタイ、隨テ今回
ノ都市計畫事業ニ付キマシテハ、相當廣
範圍ニ防火地域ト云フモノヲ指定シ
テ居ルナラヌト考ヘテ居リマシテ、是
ハ市街地建築物法ノ改正ヲ只今用意
シテ居ル次第デアリマス、其ノ他各大都
市ナドモ、先程申述ベマシタ方針ニ基
キマシテ、各具體的ニ案ヲ進メテ居
ルヤウニ努力シテ居リマス、簡單デア
リマスガ是デ御答ヘト致シマス

○中田委員 大體是デ打切リト致シ
タイト思ヒマス、ドウカ最後ノ決議案問
題ヲ具現化スルコトニ對シマシテハ、
改メテ御希望ヲ申上ゲマシテ私ノ質問
ハ是デ打切リト致シマス

○林田委員長 通告順ニ從ッテ御良一
君

○佃委員 昨ハ十三點ニ付テ簡單ニ御
尋ネヲ申上ゲタイノデアリマス、第一
ハ特別都市計畫事業ガ國家ノ事業デア
ルコトハ明カデゴザイマスルガ、其ノ
費用ノ一部ヲ公共團體ニ負擔セシムル
ノ理由ニ付テ承リタイノデアリマス、
第二ハ本法ノ第四條ニ於テ公共團體ガ
經費ヲ負擔スル場合ニハ「國庫ハ勸令
ノ定メルトコロニヨリ、ソノ費用ノ全
部又ハ一部ヲ補助スル」トゴザイマス
ルガ、全部ヲ國庫ヨリ補助スル場合ハ
具體的事例ハドウデアアルカ御伺ヒ
申上ゲタイノデアリマス、第三ハ本
事業ハ其ノ性質ヨリ見テ全國國庫補助

ニ依ルヲ至當ト思フガ、政府ノ御所見
ヲ承リタイノデアリマス、第四點ハ國
庫補助ハ政府ニ於テ事業費ノ基本單價
ヲ定メ、其ノ單價ニ對シテ一定率ノ金
額ヲ補助スル建前デアアルト聞キマス
ガ、是ハ事實デゴザイマセウカ、而モ
其ノ單價ハ一例ヲ舉ゲマシテ、戰災
地ノ清掃費ハ坪當リ七圓餘ト定メラレ
テ居ルノデアリマスルガ、大都市ニ於
テハ事實上坪當リ五十圓ト云フノガ常
識デアアルノデアリマス、是ハ神戶方面
ノ例ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、隨
テ政府ノ定メル單價ニ依ッテ補助スル
トナルト、補助率ハ八割或ハ三分ノ一
ト云ヒマスルケレドモ、事實上ハ二、
三割、或ハ又五分、一或ハ又六分、一
ニシカナラヌト考ヘラレルノデアリマ
ス、是ハ結果カラ見テ國民ヨリ僞ルコト
ニナルノデハナイカ、政府ハ實際必要
ナ事業費ヲ基本トシテ、其ノ定メタル
補助率ヲ以テ補助スベキデアアルガ、此
ノ點ドウデゴザイマセウカ

第五、復興事業ノ基礎タル土地區劃
整理ハ五箇年計畫デアルト聞キマスル
ガ、現在ノ補助内定額ハ餘リニモ僅少
デアツテ、此ノ儘デハ何十年ヲモ要ス
ル計畫ニナルト私ハ考ヘマスルガ、此
ノ點ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノ
デアリマス、第六、特別都市計畫事業
ノ執行者ガ、市町村長デアレバ其ノ
經費ハ市町村デ負擔シ、府縣知事デア
リマスナラバ府縣デ負擔スルカ、其
ノ事業主體ヲ異ニスルニ伴ヒ其ノ經費
ノ負擔者ガ或ハ市町村或ハ府縣ト異ル
ノハ公平ヲ缺ク結果トナルト考ヘルノ
デアリマス、政府ハ事業執行者ガ市町
村長タルト府縣知事タルトニ拘ラズ、
其ノ費用ハ府縣及ビ市町村ニ於テ適正
ニ分擔セシムル必要アリト私ハ考ヘマ

スルガ、此ノ點ニ付テノ御當局ノ御所見ヲ伺ヒマス

第七、公共團體ニ於テ本事業ヲ執行スル場合、其ノ實際ニ必要ナル事業費ニ付テ起債ヲ認メテ、政府ニ於テ内示シタル補助ノ基本タル事業費中、補助金ヲ差引イタル部分ニミ起債ヲ認メル方針ノ如ク開及シテ居リマス

ガ、事實上政府ニ於テ内示サレタ補助ノ基本タル事業費ヲ以テシテハ事業執行ガ不可能ナルト信ズルノデアリマス、政府ハ公共團體ノ實際ノ所要額全額ニ付テ起債ヲ認メテ下サルト云フ御意思ガアルカナイカ、此ノ點ヲ承リタリマス

第八、用地買収補償費ハ相當巨額ニ達スル見込デゴザイマス、現在ノ公共團體ノ財政力デハ支拂ノ困難ガ豫想セラル、ノデアリマス、政府ニ於テハ之ニ對シテ債券ノ發行ニ依ツテ支拂ハシムル方途ヲ講ゼラル、ノ御意思アリヤナキヤ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

第九、昭和二十年十二月三十日閣議決定ノ「戰災復興計費基本方針」第五項土地整理ノ中、(一)ニ於テ「必要ニ應ジテ地券ノ發行等ノ方法ヲ考慮スルコト」トゴザイマス、是ガ具體的事例ト其ノ法制的措置ニ付テ承リタイノデアリマス

第十、「戰災復興計費基本方針」第九項復興計費事業費中ノ(二)ニ於テハ「公共團體ニ於テ負擔スル費用ニ付テハ其ノ一部ヲ罹災區域外ノ住民ヲシテ負擔セシムルコトヲ得ルコト」トゴザイマス、是ハ罹災地域ニ即セザル市町村ノ區域内全部ニ互リ受益者負擔金ヲ徴收シ得ルコトヲ差支ヘナイノデゴザイマセウカ、右ノ場合ニ於ケル是ガ法制的措置如何ヲ伺ヒタイノデア

リマス

第十一ハ過小宅地ハ如何ナル程度ニ於テ決定スル方針ナリヤ否ヤ、又其ノ基準如何、是ハ前ノ質問者ニ依ツテ明カデゴザイマス、カラ是ノ御答辯ハ要リマセヌ

第十二、法第十八條ニ於テ「補償審査會ハ都道府縣又は主務大臣ノ指定スル市街ニ之を置き」トアリマス、現在指定セントスル市ハ、ドウ云フ市デアリマスルカ、同條第五項ニ於テ、「委員ハ關係各廳ノ一級又は二級の官吏」トアルガ、會長ハ通常地方長官デアツテモ、主務大臣ノ指定スル市長ハ對應シテ、「委員ハ關係各廳ノ一級又は二級の官吏」ノ次ニ、「第一項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル市ニ於いては町の吏員」ヲ加フル必要アリト私ハ考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テ御當局ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

第十三、土地區劃整理ニ付テ徵集スル清算金ニ付テハ分割ヲ認ムル旨規定セラレタリマス、其ノ年限ニ制限ヲ附シマスルノカ、事業執行者ヨリ支拂フベキ清算金ニ付テモ分割支拂ヲ認ムルノデアリマス、若シ分割支拂ヲ認メナイ時ハ、當該公共團體ニ於テ立替支拂ヒヲナサバナラマ場合ガ多イノデアリマス、其ノ財源ニ付テ考慮ヲ拂ハレテ居ラレマス、ドウカ、御當局ノ御説明ヲ戴キタイノデアリマス、以上十三點ヲ御伺ヒ致シタイト存ジマス

○大橋政府委員 最初ノ第一點ハ、公共團體ガ都市計畫ノ費用ヲ負擔スル理由ハドウ云フ點ニアルノカト云フ御尋ネデゴザイマス、都市計畫事業ハ法制上國ノ事業トナツテ居ルノデゴザイマス、是ハ仕事ヲ實施スルニ付テ色色ナ點ヲ考慮シタ上デ、國ノ事業トシテ決定サレタモノデゴザイマス、其ノ結果生ズル所ノ經濟上ノ利益ハ國家ニ及ブト同時ニ、地元ノ公共團體ノ住民全體ニ及ブトハ申スマデモナイノデゴザイマス、隨ヒマシテ都市計畫法ニ於キマシテハ、公共團體ニ於テ其ノ費用ヲ原則トシテ負擔スル、斯ウ云フ建前ニ從來相成ツテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ今回ノ特別都市計畫法ニ於キマシテモ、此ノ原則ニ對スル例外ヲ規定致シテデゴザイマセヌ、隨ヒマシテ原則トシテ公共團體ガ負擔スル、サウシテハ對シテ特別ニ國庫ガ高額ナル補助ヲスル、斯ウ云フ規定ガ殘ツテ居ル次第デゴザイマス、此ノ地方費ノ負擔ト、之ニ對スル國庫補助ニ依リマシテ、都市計畫ノ事業ノ結果利益ヲ負擔スル其ノ地方ノ住民ト、又國民全體トガ適當ニ此ノ費用ヲ分割シテ負擔スル結果トナル譯デゴザイマス

ソレカラ本法案ニ於キマシテ、全部又ハ一部ヲ補助スルコト云フ規定ヲ設ケテデゴザイマス、全部補助スル場合、具體的ノ例ガアルカト云フ御質問デゴザイマス、是ハ只今ノ所具體的ニ全額ヲ補助スルモノト決定シテ居リマス、事業ハデゴザイマセヌ、是ハ今後ノ事情ニ依リマシテ、將來或ハサウ云フモノモ出テ參ルカモ知レマセヌ、今日ノ所ハデゴザイマセヌヤウナ次第デゴザイマス

ソレカラ第三、都市計畫ノ費用ヲ原則トシテ國庫ガ負擔シテハドウカト云フ御尋ネデゴザイマス、是等ノ費用ヲ國庫ガ負擔スルコト云フコトハ、私共ト致シマシテモ、當初ヨリ

ゾノ問題トシテ考ヘタ次第デゴザイマス、何分ニモ敗戦後ノ我が國ノ財政ハ頗ル困難ヲ極メテ居リマス、ソレ等ノ點ヲ考ヘマシテ、全額ヲ國庫ニ於テ負擔スルコト云フ方針ヲ貫クコトガ出來ナカッタヤウナ次第デゴザイマス

ソレカラ第四點ノ、國庫補助ハ政府ニ於テ適當ナル單價ヲ定メ、其ノ單價ヲ其準トシテ補助スルノデアリナカト云フ御尋ネデゴザイマス、政府ト致シマシテハ、都市計畫事業ニ對スル國庫ノ補助ハ、出來ルダケ清算額ニ對シテ定メラレタル補助率ヲ以テ補助シテ行キタイト云フ考ヘデゴザイマス、唯御尋ノヤウナ單價ヲ定メテ經費ヲ配當スルコト云フコトハ、現在實施アリシテ居リマス、ソレハ現在實施アリシテ居ル各地方ニ分配スル一ツノ標準ト致シマシテ、一應其ノ算算ノ基礎ニナツテ居リマス、單價ヲ標準トシテ、各都市ノ仕事ノ量、隨ヒマシテ豫想セラレタル經費ノ支出額ト云フモノヲ豫算致シマシテ、其ノ豫定額ニ對シテ一應配當シタル譯デゴザイマス、是ハ其ノ後ノ實際ニ依リマシテ、清算額ガ定メラレマシタ場合ニハ、出來ルダケ其ノ清算額ヲ基礎トシテ補助率ヲ適用スルヤウナツテ居リマス

其ノ次ニ、土地區劃整理ノ、政府ノ今年度豫定シテ居ル經費ハ、五箇年ニ全國域ヲ完成スル積リダサウダ、頗ル少シ、デハナイカト云フ點デゴザイマス、此ノ點ハ御指摘ノ通りデゴザイマシテ、私共モ目下今年度ノ豫算ト申シ、經濟安定ノ爲ノ公共事業費ト云フモノガ、約六十億圓程豫定セラレテ居リマス、此ノ中ニ出來ルダケ

區劃整理ノ費用ヲ要求シタイト存ジマシテ、目下折角關係方面ト折衝中デゴザイマス

ソレカラ其ノ次ノ、市町村ガ執行スル場合、府縣ガ執行スル場合、之ニ依ツテ經費ノ負擔ガ異リハシナイカト云フ御尋ネデゴザイマス、此ノ點、市町村ガ執行スルカ、府縣ガ執行スルカト云フコトハ、事業ヲ執行スルノニドチラノ機關ガ其ノ能力ガアルカ、又便宜デアルカ、又結果ガウマシクカト云フヤウナ點ヲ勘案サレマシテ、市町村當局ト府縣當局トノ協議決定サレル次第デゴザイマシテ、此ノ結果法律上ハ經費ノ負擔ガ多少變ルコトニハナツテ居リマス、併シ何レノ場合ニ於キマシテモ、市町村ガ若シ負擔スル場合ニハ市町村ニ對シテ關係府縣ガ負擔スル場合ニ於テハ、關係市町村ガ負擔スル場合ニ於テハ、關係市町村ガ負擔金ヲ取ルコト云フ方法ニ依リマシテ、出來ルダケ市町村長ガ執行シタ場合ト、府縣知事ガ執行シタ場合ト、經費負擔ガ違フト云フヤウナコトノナイヤウニ、行政上ノ指導ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス

ソレカラ其ノ次ノ用地買収ニ付テ地
方團體ガ債券發行ノ方法ヲ執ツテハド
ウカト云フ點デゴザイマスガ、是ハ
今後ノ實情ニ依リマシテ左様ナ必要ガ
アリマスルヤウナラバ、十分サウ云フ
問題ヲ取上ゲテ研究シ、サウシテソレ
ガ爲ニ法案ガ必要ナラバ、サウ云フ法
案モ準備スル、出來ルダケ實情ニ即
シタ、又色々地方々々ノ實情ニ依リマ
シテ色々考ヘガアラウト思ヒマスル
ガ、サウ云フ方ニ付テハ、出來ル
ダケサウ云フ創意ヲ生カシテ行クト云
フ風ニ致シタイト在ジテ居リマス、ソ
レカラ地券ノ發行ニ付テノ具體的ナ例
又之ニ付テノ法制的ノ根據ト云フ御話
デゴザイマスガ、此ノ地券ノ發行ト
云フ問題ハ、昨午秋カラ暮ニ掛ケマシ
テ、東京都其ノ他二、三ノ都市ニ於キ
マシテ斯ウ云フ方法デ以テ區劃整理ヲ
ヤツテハドウカト云フ説ガ多カッタノ
デゴザイマス、其ノ後各都市トモ研究
ノ結果、現在デハ地券發行ニ依ツテ區
劃整理事業ヲ實施シヨウト云フ計畫ヲ
具體的ニ持ツテ居ル都市ハゴザイマセ
ソレカラ其ノ次ノ都市計畫ノ經費ヲ
罹災區域外ノ住民ヘハドウ云フ風ニシ
テ負擔ヲサセルカト云フ點デゴザイマ
スガ、是ハ都市計畫事業ノ利益ノ存ス
ル限度ニ於キマシテ、受益者ノ負擔ヲ
掛ケマスコトハ、是ハ現在ノ都市計畫
法デ出來ル譯デゴザイマスガ、ソレダ
ケデハ十分デゴザイマシテ、此ノ點
ハ是等ノ經費ヲ市町村デ實施ラシマス
ル場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ縣
ノ補助ヲ多クスルト云フヤウナ方法ニ
依リマシテ、關係區域外ノ一般國民カ
ラモ、其ノ都市ノ復興費ノ一部ヲ縣費
カラノ補助金ノ形デ實質上負擔ヲサセ
テ行カウ、斯ウ云フコトヲ指導シテ行

キタイト思ツテ居リマス
ソレカラ補償審査委員會ニ於テ市長
ヲ會長トスルモノハドウ云フモノカト
云フコトデアリマスガ、是ハ現在豫想
致シテ居リマスルノハ、大阪、神戸、
名古屋、横濱ノ四市デゴザイマス、サ
ウシテ是等ノ都市ニ設ケラレマスル補
償審査委員會ニ於キマシテハ關係各區
ノ一級、二級ノ官吏ト同様ニ、其ノ關
係都市ノ市ノ關係ノ吏員ガ當然審査會
ノ委員ニナラナケレバナラスコトハ御
示シノ通りデゴザイマシテ、此ノ法律
ノ條項ト致シマシテハ、學識經驗者ト
云フ條項デ以テ市ノ吏員ヲ加ヘル、斯
ウ云フ解釋ニ相成ツテ居リマス、ソレ
カラ清算金ノ分納ノ年限ハ、大體五箇
年位ト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス
○個委員 大變御懇篤ナ御答辯ヲ戴キ
マシテ有難ウゴザイマシタ、私ノ質問
ハ是デ打ち切りマス
○林田委員長 ソレデハ通告順ニ從ヒ
マシテ鈴木君ニ御願ヒ致シマス
○鈴木(仙)委員 今回ノ特別都市計畫
法案ニ付テ二、三點御伺ヒ致シタイト
思ヒマス、先ヅ私ハ東京都ヲ通ジテ實
際ノ致シテ見タイト思ヒマスガ、東京
都ノ今回ノ戰災復興都市計畫ヲ見マス
ト、成程商工業、住宅地域並ニ綠地、
道路網等ノ設定ニ付テハ一應首肯スル
コトガ出來ルノデアリマスガ、帝都東
京ハ國政ノ中樞地デアルト同時ニ、世
界ニ於ケル文化都市ノ典型トモナルベ
キ理想ヲ持ツモノデアリマシテ、美シ
イ都會、佳ミ好イ都會ト同時ニ、清淨
ナ文化都市デナケレバナライ管ダト
思フノデアリマス、斯カル考察カラ致
シマスレバ、衛生的ナ見地カラ先ヅ第
一ニ懸念ヲサレルコトハ下水道ニ付テ
デアリマス、曾テ東京市ニ於キマシテ

大下水道工事ヲヤツテ間モナク、其ノ
利用價值ハ殆ト低下シテシマヒマシタ、
今ハ全ク「ゼロ」ト云フヤウナ狀態デア
リマシテ、此ノ下水道ニ付テハ明治時
代ニ神田當時ノ創設ニ携ハッタ某英
國人ガ、東京ノ歴史ハ糞小便ニ始マツ
テ糞小便ニ終ルデアラウト云フ、マルデ
謎ノヤウナ言葉ヲ殘シテ歸ツテ行ツタ
ト云フコトヲ聽イテ居リマスガ、今
シテ思ヘバ一面洩ニ穿ツタ名言デアツ
タヤウニ思フノデアリマス、東京ハ以
前カラ出水毎ニ下町一帶ハ糞尿ニ惱マ
サレルバカリデナク、江東方面ノ如キ
ハ糞尿ノ沼ト化ス地帯ガ續出ラシテ居
リマシテ、戰時中空襲前後ニ及ンデ
ハ、都心ヲ始メ山手ノ高層建築カラ小
住宅ニ至ルマデ糞尿ノ充滿デアリマシ
テ、全ク手ノ下シヤウノナイ狀態、所
謂處置ナシニ至ツタコトハ誰シモガ
經驗ヲシタコトデアリマス、現在戰
災地帯ニ於ケル戰災住宅ノ殆ト全部
ガ、糞尿ニ關スル限り原始處理ヲ行ツ
テ居ル狀態デアリマス、斯カル現状カ
ラ考ヘラレマシテ、糞尿處理ニ對スル
衛生的見地カラ、同時ニ之ニ關聯スル
下水道ノ更生ニ付テ、今回ノ計畫ニ
於テドノヤウナ御考ヘガアリマスガ、
其ノ點ヲ御伺ヒヨシタイト思ヒマス
次ニ都市計畫ト官廳トノ連絡デアリ
マス、特に運輸省トノ連絡ニ付テ御尋
ネテ致シタイト思ヒマス、嘗テノ都市
計畫ニ於ケル道路、橋梁設定等ヲ見マ
スニ、折角道路ガ完成サレ、又ハ橋梁
ガ竣工ヲシナガラ、鐵道ノ路線デア
ルトカ、或ハ踏切、又ハ線路ノ堤防ナド
依ツテ其ノ道路ガ遮斷サレテ、全ク
道路トシテノ用ヲナサズ、橋梁モ橋梁
トシテノ眞價ヲ發揮シ得ナイト云フヤ
ウナ箇所ガ隨處ニ見受ケラレマス、ソ

レバカリデハナク鐵道ト道路ノ接觸地
帶デ土手崩レ等ヲ生ジマシタ場合ニ、
運輸省關係ハ路線ノミヲ修理ラシテ、
道路ノ方ニハ目前ノ危險ヲ眼ノアタリ
ニ見ナガラ其ノ儘放置ラシテ置ク、同
ジヤウナ場合、一方内務省關係ハ道路
ノミヲ修理ラシテ、路線ノ危險狀態ハ其
ノ儘放置ラシテ置クト云ツタヤウナコ
トヲ屢々見受ケテ居リマス、是等ハ内
務省ト運輸省トノ連絡ガ緊密デハナイ
ト云フ證左デアリマス、今度ノ都市計
畫ニ當ツテ斯カルコトノナイヤウニ、
十分緊密ナ連絡ヲ取ツテ戴キタイト思
フノデアリマス、例ヘバ驛前等ヲ都市
計畫ニ依ツテ廣場ヲ設定セル後ニ至ツ
テ、鐵道路線或ハ貨物停車場、驛ノ移
轉、構想ノ變更ニ依リマシテ、更ニ計
畫ノ修正ヲヤラナケレバナライナイト
云フヤウナコトヲ、モノニ依ツテハ根
本的ニ計畫ノ大變更ヲ來スヤウナコト
ガアツテハ、復興都市建設ニ多大ノ障
碍ヲ來ス以外ノ何物デモナイト思フノ
デアリマス、都市計畫ハ究極ニ於テ建
築ノ問題デアリマス、建築ハ道路計畫
ト區別整理ノ線ニ沿ツテ行ハレルコト
ハ言フマデモナイコトデアリマス、復
興實現ノ要諦ハ、一般人ガ安ジテ建築
ニ取リ掛レル基礎、詰リ道路決定ト區
劃整理ノ確立ノ此ノ二點デアリマス、
是ナクシテハ、戰後ノ國民ノ一般人ハ住
居ニ迷ヒ、產業モ手ニ付カズ、唯混
迷ニ陥テ時日ヲ空シクスルバカリデ
アリマス、此ノ道路決定ト區劃整理ノ
確立ニ當ツテハ、前ニ申述ベマシタヤ
ウニ、關係各官廳ト十分打合セト連
絡ヲ如何ニスルカニ付テ質問ヲ致シタ
イノデアリマス
ソレカラ逐條的ニ前議員ノ方ガ相當
細カイ質問ヲサレマシタガ、私モチヨ

ット一言御尋ネシテ置キタイト思ヒマ
ス、第六條ニ付テ此ノ都市計畫ノ速カ
ナ實現ニハ勿論相當ナ考ヘ方ガナケレ
バナライナイデアリマスガ、地券ノ
發行計畫ハ多分御考ヘニナツテ居
ヤウデアリマスレドモ、一應御破
算ニナツテシマツタヤウデアリマ
ス、第六條ノ「前條第一項ノ土地區劃
整理ノ施行地區ニ編入された土地につ
いて、所有者その土地に地上權、賃借
權又は永小作權がある場合は、これら
の權利の權利者を含む」の同意があつ
た場合には、勅令の定めるところによ
り、換地を交付しないで金銭で清算す
ることが出来る。」ト云フ是デアリマ
スガ、速カナ事業ノ實現ヲ見ル上ニ於
キマシテ、本人ノ同意ガナクとも、土
地整理委員會ノ意見ニ於テ換地ヲ交付
シナイデ金銭で清算スルコトガ出來レ
バ、事業ノ促進ニ非常ニ便利ト當局ハ
思ハレルカドウカ、又之ヲオヤリニナ
ル意思ガアルカドウカ、此ノ點ニ付テ
御尋ネシテ置キタイト思ヒマス
ソレカラ第十一條デアリマス、區劃
整理委員會デアリマスガ、東京都ニ於
テハ東京都ヲ一地區ニスルノカ、又ハ
三十五區ヲ別個ニ之ヲ置クノカ、ソレ
トモ特別ノ構想ニテ新地區の二分劃設
置ヲスル御考ヘデアルカ、此ノ點ニ付
テ御尋ネラシテ見タイト思ヒマス
○大橋政府委員 御尋ネノ第一點ノ東
京都ノ下水道ノ計畫ハドウナツテ居
ルカト云フ點デゴザイマスガ、東京都
ニ於キマシテハ戰時中ニ下水道ニ非常
ナ被害ヲ蒙ツテ居リマシテ、現在ノ都
下水道事業ト致シマシテハ第一著ト致シ
マシテ、此ノ現在蒙ツテ居リマスル被
害ヲ復舊スルト云フ點ガ主眼ニナツテ
居リマス、其ノ點ヲ目下實施中デゴザ

イマス、併シナガラ御指摘ノ通り今後ノ都市建設ノ爲ニハ、ドウシテモ此ノ機會ニ徹底シテ下水道ノ普及ヲ圖ルコトガ必要デゴザイマス、其ノ方面ノ調査研究モ並行シテ進メテ居ルノデゴザイマシテ、區劃整理ガ済ミマシタナラバ、直チニ著手シテ實現ニ移ルコトノ出來マスルヤウニ、目下調査計畫中デゴザイマス

ソレカラ第二運搬省ト復興院ノ都市計畫ノ連絡ハドウナツテ居ルカト云フ御尋ネデゴザイマス、復興院ト致シマシテハ、地方カラ出テ参リマスル都市計畫ヲ決定致シマスル前ニ、必ズ運輸省ト次ノヤウナ點ニ付テ打合せテ居リマス、其ノ第一點ハ從來ノ驛ヲ移轉スル計畫ガアルカナイカ、又移轉スル場合ニハ何處ニ移轉スルカ、ソレカラ若シ貨物驛ト乘客ノ専用驛ト分離スルヤウナ計畫ガアレバ、ソレハドウ云フ計畫アルカ、ソレカラ鐵道ノ要求スル驛ノ爲メノ用地並ニ線路ノ用地トシテハドウ云フ用地ガ必要デアルカ、ソレカラ彈丸列車其ノ他新線ニ付テノ鐵道ノ計畫ハ、其ノ都市ニ於テハドウナツテ居ルカ、斯ウ云フヤウナ點ヲ打合セテ居リマス、ソレカラ港灣ノ點ニ關シマシテモ、ヤハリ同様ニ港灣局ト將來ノ港灣計畫ヲ打合セルト云フヤウナコトヲ致シテ居リマシテ、現在マデニ決定致シテ居リマスル各都市ノ都市計畫ニ於キマシテハ、驛前廣場或ハ貨物驛ノ新設、新線ノ構築又今後ノ鐵道ノ改良、事業ノ爲ニ必要ナ用地、是等ノ點モ十分ニ打合セテ致シマシテ、區劃整理ニ於キマシテハ必ズ是等ノ用地ヲ獲得スルコトガ出來ルヤウナ措置ヲ講ジテヤツテ居ル次第デゴザイマス、此ノ點ハ他ノ省ニ關シマシテモ

ヤハリ同様ノ打合セテ致シテ、計畫ガ將來繼續スルコトガナイヤウニ出來得ル限リ連絡ヲ致シテ居リマス
ソレカラ、第六條ノ規定ニ土地ノ關係人ノ同意ガ必要トナツテ居ルガ、同意ナクテ清算ガ出來ルヤウニシテハドウカト云フ點デゴザイマス、此ノ法案ニ於キマシテハ、過小宅地ヲ整理スル場合、或ハ大ナル宅地ヲ、特ニ減歩ノ率ヲ増シテ減歩スルヤウナ場合、サウ云フ場合ニハ同意ガナクテヤレルコトニ致シテアリマスガ、併シ一般的ニ同意ガナク清算スルコト云フ方法ハ認メテ居リマセヌ、併シナガラ是ハ今後土地區劃整理委員會ノ運用ニ依リマシテ、不用ニナリマシタ工場敷地デアルトカ、其ノ他餘リ利用シテナカシタヤウナ大邸宅ノ跡跡デアルトカ、サウ云ツタモノニ付テハ、出來ルダケ勸奨ノ方法ヲ講ジテ、清算スル必要ノアリマスモノハ清算ヲシテ戴キヤウニスルコト云フ風ヲ指導ヲ致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ第十一條ノ土地區劃整理ノ委員會デゴザイマスガ、是ハ東京都ニ於キマシテハ之ヲ幾ツカノ土地區劃整理施行地區ニ分ケルコトニ豫想シテ居リマス、唯其ノ地域ハマダ具體的ニ決定シテ居リマセヌ

○鈴木(仙)委員 第六條ニ付テハ分リマシタ、下水道ノ問題デスガ、下水道ハ在來ノ下水ヲ修理スルコト云フ風ナ御答辯デアリマシタガ、在來ノ下水ガ現ニ角實際ニ於テ其ノ利用價值ガ全然「ゼロ」ノモノガアル、是ハ技術者カラ見マシテモ、在來ノ下水ト云フモノハモウ既ニ泥砂ニ依ツテ殆ド埋メラレテ居ル箇所モアル、技術的ニアレハ立派ナモノデナイト云フヤウナコトヲ聞カサレテ居リマス、ソレカラ其ノ下水

ノ不完備ニ依ツテ東京都内ニ於テモ時時川ノ氾濫スルヤウナ場所モアリマシタリ、モウ根本的ニ都市計畫ト並行シテ、先ヅ第一ニ私ハ下水道ノ大計畫ヲ立直サナケレバ、到底衛生の見地カラ立派都市ハ出來ナイト思ヒマス、其ノ點十分ニ御考ヘ下サルヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

ソレカラ、運輸省トハ緊密ナ連絡ガアル、前以テ計畫ノ途上ニ於テ打合セテ行クコト云フ風ナ御答辯デアリマシタガ、是モ、私ノ知ツテ居ル範圍ノ所ニ於テハ、既ニ幹線道路ガ發表ニナツテ、ソコニ大貨物驛ガ出現スルコト云フノデ、寄リノ地元ノ者ガ陳情ヲシテ居ルサウデアリマス、是等ハ餘リ緊密ナ連絡ガ付イテナイヤウニ考ヘラレマス、東京都ニ付テハ大體ラ通ジテ質問デアリマスガ、交通局、港灣局ナドハ、ソレハ都ノ方デ非常ニ細カイ所ノ打合セガ付カ知リマセヌガ、ドウモ運輸省ト連絡ハ、今マデノ都市計畫事業ノ上ニ於キマシテモ、道路ガ出來テモ三年モ五年モ隨切ガ擴ガラナカッタリ、其ノ土地ガ開カナカッタリシテ、道路ガ全然使ヘナイト云フコトハ未ダニアル、是等ヲ唯連絡ガ付キニナツテ居ルヤウニ御考ヘデアツテハ私ハ困ルト思ヒマス、モウ一遍是ハ能ク御調査ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、ソレカラ大體東京都ハ何區カニ御分ケニナツテ委員會ヲ御作りノヤウデアリマスガ、私ハ第十六條ニ付テ御尋ネシタイト思ヒマスガ、第十六條ニハ「第五條第一項ノ土地區劃整理ノ施行により、土地區劃整理施行地區内における施行後ノ宅地ノ總面積が、施行前ノ宅地ノ總面積に比し、一割五分以上減少するに至つたときは、その一割五分を

超える部分について、土地所有者及び關係者に對して、勅令の定めるところにより、補償金を交付する」とアリマスガ、是ガ私ノ懸念シマシタノハ、東京都ガ若シ一委員會ニナツタヤウナ場合デアリマスガ、之ヲ分割シテ委員會ヲ御作りニナルト云フナラバ、斯ウ云フ點モ御考ヘガ願ヒタイト思ヒマス、是ハ綠地地帯ヲ單獨ナ買取ラシタ場合、所謂別途事業トシテアツタ場合、新市域ノ方面ハ大體綠地地帯ヲ除イテ二割五分カ三割程度ノ減歩トナル様子デアリマスガ、都心京橋、日本橋、淺草ナドハ、道路ノ完備、所謂在來道路面積ノ擴大ノ爲メ其ノ減歩ハ七、八分ニ過ギナイト云フコトデアリマシテ、若シ一割五分ニ達シナイ場合ハ之ヲ清算負擔スルコトガ適當デアルト申シマスノハ、是等ノ中心都心地域ハ、曾テノ關東大震災ニ於テ既ニ總面積ノ一割ヲ提供ラシテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、而シテ又今回此ノ都市計畫ニ依ツテ一律一體一割五分以上ト云フコトヲ規定サレル場合ニ、新市域トノ均衡上私ハ不平等デハナイカト考ヘルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ一寸御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

○財津政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、此ノ一割五分以上ノ減歩ノ場合、一割五分ダケハ地主ノ負擔サセル、此ノ場合ノ區域ハドウ云フ所ヲ標準ニスルカト云フ問題ニナルト思ヒマスガ、ソレハ大體地區毎ニヤリタイト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ銀座ノ減歩ト新市域ノ減歩トガ一緒ニナルト云フコトハナイト思ヒマス、大體似タヤウナ箇所ニ於テ此ノ今ノ減歩ノ割合ガ確定サレル、斯ウ云フヤウニ御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○鈴木(仙)委員 了解致シマシタ
○林田委員長 次ハ鹿島透君
○鹿島委員 色々御聽キシタイト思ツタコトガアリマシタガ、アラマシテ承致シマシタ、國土省ノ設置ノ問題ハ此ノ前ノ質問デ保留シテ居ツタノデアリマスガ、内務省カラオ見エニナツテ居レバ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、尙ホ國土計畫審議會ノ方ハドウナツテ居ルカ、此ノコトモ序ニ御伺ヒ致シテ置キマス、ソレカラ農村計畫ト云フヤウナコトニ付テ御伺ヒシタイノデアリマスガ、昨年十二月ノ閣議決定ニ依ル災復興計畫基本方針ニ、都市、農村ノ人口配分等ニ關スル合理的の方策ニ示サレテ居リマスガ、過大都市ノ人口抑制ハ大體此ノ法案デ出來ルトシマシテ、其ノ人口ヲ農村方面ニ持ツテ行ク譯デアリマスガ、農村ノ受入ニ付テモ色々ナコトガ考ヘラレテ居リマス、レドモ、是デハ十分デナイト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、過大都市ヲ抑制シヨウトスレバ、當然農村ニ對スル受入態勢ヲ整ヘテ、ソナナ意味カラ尙ホ又今後我ガ國ノ經濟ノ形體ヲ相當變ツタモノニシテ行カナケレバ、色々問題ガ解決シナイト云フ立場カラ、農村方面、農工中核トスル産業ノ再編成ガ必要デアルト思ツテ居ルノデアリマシテ、耕地ノ造成ヤ水利、道路ノ整備、尙ホ文化施設ノ向上、生活ノ改善、斯ウ云ツタヤウナコトヲバ考ヘ併セマシテ、農工兩方面ノ生産ヲ増強スル、文化程度ヲ上ゲルト云ツタヤウナ施策ヲ執ラナケレバ農村人口ヲ増加スルコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマス、私ハ本法案ト共ニ所謂都市計畫ニ對シテ、農村計畫ト云ツタモノ

計畫ニ對シテ、農村計畫ト云ツタモノ

が必要アルト考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、農村計畫ヲバ立法化スルコト云フ
考ヘハナイカ、之ヲバ此ノ機會ニ御尋
ネシテ置キマス

ソレカラ次ニハ特殊ナ都市ノ整備復
興ニ付デアリマスガ、地方ノ都市中
特ニ軍關係ノ施設、或ハ軍需工場等ヲ
中心トシテ運営サレテ居ツタ所謂軍
都、軍港、軍關係工場都市、是等特殊
ノ性格ヲ持ツテ居ツタ都市ノ復興ニ付
テハ、又特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアルト
考ヘテ居リマス、是等ノ都市ニ殘存シ
テ居ル諸施設ノ轉換及ビ整備擴充等ニ
付テ、全ク新ナ構想ノ下ニ實施スル
必要ガアルト思フデアリマシテ、又
其ノ都市ダケデハ解決スベキ問題デ
モナイ、其ノ都市ヲ含ム一聯ノ地域ヲ
包含メテ、綜合的ニ計畫實施スルコト
ガ大事デアルト思ツテ居リマス、之ニ
付テドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツテ居
ラレルカ、ソレヲ御伺ヒ致シテ置キタ
イト思ヒマス

ソレカラ資料ノ問題デアリマスガ、
是ハ中々難カシイ問題デアリマスケレ
ドモ、本法案ヲ實施スルニハ應大ナ各
種ノ復興資料ガ要ルノデアリマシテ、
差當リ「セメント」ノ如キハ非常ニ必
要ト考ヘテ居リマス、「セメント」ノ生
産狀況ト將來ニ對スル見透シ、是等ニ
付テ御伺ヒシテ置キマス、尙ホ硝子ニ
付テモ同様ニ御伺ヒ致シテ置キマス

ソレカラ大學、專門學校等ノ地方分
散ニ付テハ、ソレノ關係方面ト打合
セラシテ居ルコト云フデアリマシタ
ガ、私モ是ハ是非此ノ際斯ウ云ツタヤ
ウナ教育機關並ニ研究機關等ハドウシ
テモ地方ニ分散スル必要ガアル、サウ
シナケレバ結局此ノ過大都市ヲ抑ヘテ
行クコトハ出來ナイト云フヤウナ考ヘ

ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、是ハ大
體御答ヘガアリマシタカラソレデラ承
致シマシタ、特ニ地方ノ戰災學校ノ復
興デアリマスガ、是ハ非常ニ地方デモ
困ツテ居リマス、資料モナイシ、又金
モ起債ヲ許サレヌ關係デ非常ニ困ツテ
居リマス、何トカシテ是等戰災ノ國民
學校或ハ中等學校等ヲ早く復興シナケ
レバ、是ハ非常ニ問題ヲ將來ニ貽スト
考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ付テ
ノ御考ヘヲ御伺ヒ致シテ置キタイト思
ヒマス

ソレカラ都市計畫委員會ノ運用ニ付
デアリマスガ、一體地方ノ委員會デ
アリマスケレドモ、果シテ此ノ運用ガ
旨ク行ツテ居ルカドウカト云フ問題デ
アリマス、地方ノ縣廳方面ノ係ノ方ガ
本省ト打合セテ案ヲ御作リニナツテ、
ソレニ付テ地方ノ委員會ガ十分意見ヲ
述べテ、本當ニサウ云ツタヤウナ意見ヲ
望ムガ採リ入ラレテ居ルカ、參考書
デ御伺ヒ致シマス、既ニ街路區劃等
ニ付テモ決定シテ居ル方アルヤウデ
アリマスガ、果シテ是等ハ地方ノ都市
計畫委員會ガ、十分活用サレテ、其ノ
上デ決定シテ居ルモノデアルカ、其ノ
點モ御伺ヒ致シテ置キマス、尙ホ又地
方委員會ノ意見、是等モ道路等ニ付テ
ハサウ地方委員會デ彼此レ申シマシテ
モ、全國ヲ通ジテノ基本方針ガゴザイ
マセウカラ、簡單ニ變更セラレマセヌ
デセウケレドモ、地方委員會ノ考ヘモ
相當復興計畫ニ付テハ御採用ニナル方
針デアルカドウカ、唯諸問ヲスル、唯意
見ヲ聴クト云フデケデアツテ、本當ニ
ソレ等ノ考ヘガ採ラレラレテ居ラヌノ
デハナイカト思フデアリマスガ、委
員會ノ意思ヲ十分尊重サレルカドウカ
ト云フコトモ併セテ御伺ヒ致シテ置キ

マス
ソレカ過大都市ノ人口抑制ト云フコ
トガ書イデアリマスガ、ドウモ此ノ法
案ヲズツト見マシテ、果シテ過大都市
ノ人口抑制ガ十分出來ルカドウカト云
フ不安ヲ私ハ持ツテ居リマス、本法案
ニ於テドノ條項ガ過大都市ノ人口抑
制スル強制力ヲ持ツテ居ルカト云フコ
トヲ御伺ヒ致シテ置キタイト思フ、第
六條モ第七條モ、私ハサウ大シテ效果
ハナイデヤナイカ、結局東京デ申シマ
スト、今ノ人口ヨリカ更ニ相當多イ所
ノ、言換ヘマスレバ戰前ノ人口ト云ツ
タヤウナソナモノニナリハセンカド
云ツタ不安ガアルノデアリマス、此ノ
點ハ人口ヲ抑制スル爲ニ無論考ヘテア
リマスケレドモ、其ノ效果ガナイデヤ
ナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマ
シテ、ドノ條項ガ之ニ付テ準備サレテ
居ルカト云フコトヲ御伺ヒ致シマス
過小宅地ノ問題ハ出マシタカラハ
此ノ際質疑ハ取止メマス、唯三十年
云ツタヤウナ年數デハ非常ニ少イ、ヤ
ハリ今後ノ都市ハ、私ハ畑デモ作レル
ヤウナ宅地ガ欲シイノデアリマシテ、
之ニ付テハ地方ノ狀況ニ依ツテ三十坪
以上、是ハ最小限度ヲ示シタノダカラ
善處スルコト云フ話ガアリマシタガ、出
來ルダケ此ノ敷地ハ相當廣イモノガ取
ラレルヤウニ希望スル譯デアリマス、
ソレカラ次ニ個人ノ所有スル宅地ニ付
テ其ノ總面積ヲ制限スルコト云ツタヤ
ウナ意思ハナイカドウカ、先程ノ御答
辯デ一寸ソレヲシイ御答辯ガアリマシ
タケレドモ、其ノ點ヲバハツキリ御伺
ヒシテ置キタイト思フデアリマス、
農業方面ニ於テモ農地ノ所有面積ガ制
限サレマスガ、都會方面ノ宅地ニ付テ
モ、私ハ餘リ大キイ宅地ヲ個人ガ持ツ

テ居ル、是ハドウカト思フデアリマシ
テ、サウ云ツタヤウナ考ヘハナイカド
ウカ、尙ホ又本法案ニサウ云フ點ガ示
シテアレバドノ點ガソレニ當ルカ、サ
ウ云フコトモ御示シテ願ヒタイト思ツ
テ居リマス、ソレカラ住宅ノ宅地ト建
坪トノ比例ハドノ位ニサレル御積リデ
アリマスガ、尙ホ學校ノ敷地ノ適正化
ガ必要ダラウト思ヒマスガ、之ニ付テ
モ基準ヲ持ツテイラツシナルカドウ
カ、ソレト本法適用ノ地域外ノ町村ニ
當ツテ綠地地域ヲ指定シタ場合ニ、其
ノ土地ノ利用ニ對スル制限ハドウカ、
ソレカラ堅牢建築物、耐火建築物ヲ促
進スルコトハ必要デアリ、又サウ云フ
ヤウナ御方針ノヤウデアリマスガ、ソ
レニ對スル具體的ナ御考ヘガアレバ伺
ヒタイ、住宅敷地造成ノ爲メ具體的ナ御
考ヘ、尙ホ共同住宅ニ對スル御考モ此
ノ際御伺ヒ致シテ置キタイト思ヒマ
ス、以上ノコトヲ御尋ネ致シマシテ、
尙ホ御答ヘニ依ツテ更ニ小サイ點ヲ御
聽キシタイト思ヒマス

○林田委員長 鹿島君ニ申サゲマス、
先般モ御話ガアリマシタ國土省ノ設置
ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ニ付
テハ本日總理大臣ガ出席サレテ御答辯
ガアル管デアリマシタ所、病氣ノ爲ニ
登院ガアリマセヌ、不日適當ナル機會
ニ總理大臣カラ答辯ガアルサウデアリ
マスルカ、ソレマデ御待テテ願ヒタ
イト思ヒマス

○岩澤政府委員 國土計畫ニ付テノ御
質問ニ對シテ一應簡單デアリマスケレ
ドモ御答ヘ致シタイト思ヒマス、御存
ジノ通り國土計畫ニ付キマシテハ、戰
争前カラ戰爭中ニ掛ケマシテハ、大東
亞共榮圈ノ經濟關係ノ方ニ對象ヲ取ツ

テ居リマシタ爲ニ、非常ニ應大ナ國土
計畫ノ構想ヲ練ツテ居ツタデアリマ
スケレドモ、敗戦後ニ於キマシテハ御
存ジノ通り「ボツダム」宣言ノ要請ヲ完
全ニ遂行スルコト共ニ、民主主義國家ノ
建設ヲ圖ル爲ニハ、非常ニ少クナリマ
シタ國土ニ、而モ過大ナ人口ヲ收容シ
テ如何ニシテ今後日本國ガ存在シテ行
クカト云フコトガ主目的ニナツテ居ル
ノデアリマス、其ノ爲ニハ第一ニ、考
ヘナケレバナラヌコトハ、食糧増産確
保ヲ期スル上ニ於テノ農業ノ再建、ソ
レカラ戰災地ノ復興、軍需産業ノ解體
並ニ之ヲ平和産業ニ切替ヘテ行クコ
ト、又食糧増産ノ基礎的條件デアリマ
ス所ノ肥料トカ、石灰、鐵鋼ニ付キマシ
テノ基礎産業ノ開發等、色々綜合的關
聯ニ付キマシテ、急速ニ是等ノ計畫ヲ
立テマシテ、過大ナ人口ノ收容ニ遺憾
ナイヤウナ目途ノ下ニ國土計畫ヲ考ヘ
ナケレバナラヌト思フデアリマス、
隨ヒマシテ是等ノ主目的ヲ計畫スル場
合ニ於テハ、國土計畫ハ唯單ニ抽象的
ニ都市計畫トハ違ヒマシテ、總テノ方
面ニ御存ジノ通りニ關係ガアリマスガ
ラ、唯單ニ內務省ダケデ之ヲドウスウ
スルコト云フコトハ非常ニ重荷デアリマ
スケレドモ、併シナガラ現在內務省ニ
於テ之ヲ總括シテ居ル關係上、私ノ方
ト致シマシテハ敗戦後此ノ縮小セラレ
タ國土、又過大ナ人口ヲ今後ドウシテ
生カシテ行クカト云フ點ニ付キマシ
テ相當研究ヲ重ネテ居リマシテ、漸ク
一案ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ
案ヲ、先程御尋ネニナリマシタ國土計
畫ノ審議會ガ成立致シマシタナラバ、
之ニ掛ケマシテ、本當ノ固マツタモノ
ニシテ發表致シタイト思ヒマス、尙ホ
先程ノ過大人口ヲ今後ドウシテ配分ス

テ居リマシタ爲ニ、非常ニ應大ナ國土
計畫ノ構想ヲ練ツテ居ツタデアリマ
スケレドモ、敗戦後ニ於キマシテハ御
存ジノ通り「ボツダム」宣言ノ要請ヲ完
全ニ遂行スルコト共ニ、民主主義國家ノ
建設ヲ圖ル爲ニハ、非常ニ少クナリマ
シタ國土ニ、而モ過大ナ人口ヲ收容シ
テ如何ニシテ今後日本國ガ存在シテ行
クカト云フコトガ主目的ニナツテ居ル
ノデアリマス、其ノ爲ニハ第一ニ、考
ヘナケレバナラヌコトハ、食糧増産確
保ヲ期スル上ニ於テノ農業ノ再建、ソ
レカラ戰災地ノ復興、軍需産業ノ解體
並ニ之ヲ平和産業ニ切替ヘテ行クコ
ト、又食糧増産ノ基礎的條件デアリマ
ス所ノ肥料トカ、石灰、鐵鋼ニ付キマシ
テノ基礎産業ノ開發等、色々綜合的關
聯ニ付キマシテ、急速ニ是等ノ計畫ヲ
立テマシテ、過大ナ人口ノ收容ニ遺憾
ナイヤウナ目途ノ下ニ國土計畫ヲ考ヘ
ナケレバナラヌト思フデアリマス、
隨ヒマシテ是等ノ主目的ヲ計畫スル場
合ニ於テハ、國土計畫ハ唯單ニ抽象的
ニ都市計畫トハ違ヒマシテ、總テノ方
面ニ御存ジノ通りニ關係ガアリマスガ
ラ、唯單ニ內務省ダケデ之ヲドウスウ
スルコト云フコトハ非常ニ重荷デアリマ
スケレドモ、併シナガラ現在內務省ニ
於テ之ヲ總括シテ居ル關係上、私ノ方
ト致シマシテハ敗戦後此ノ縮小セラレ
タ國土、又過大ナ人口ヲ今後ドウシテ
生カシテ行クカト云フ點ニ付キマシ
テ相當研究ヲ重ネテ居リマシテ、漸ク
一案ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ
案ヲ、先程御尋ネニナリマシタ國土計
畫ノ審議會ガ成立致シマシタナラバ、
之ニ掛ケマシテ、本當ノ固マツタモノ
ニシテ發表致シタイト思ヒマス、尙ホ
先程ノ過大人口ヲ今後ドウシテ配分ス

テ居リマシタ爲ニ、非常ニ應大ナ國土
計畫ノ構想ヲ練ツテ居ツタデアリマ
スケレドモ、敗戦後ニ於キマシテハ御
存ジノ通り「ボツダム」宣言ノ要請ヲ完
全ニ遂行スルコト共ニ、民主主義國家ノ
建設ヲ圖ル爲ニハ、非常ニ少クナリマ
シタ國土ニ、而モ過大ナ人口ヲ收容シ
テ如何ニシテ今後日本國ガ存在シテ行
クカト云フコトガ主目的ニナツテ居ル
ノデアリマス、其ノ爲ニハ第一ニ、考
ヘナケレバナラヌコトハ、食糧増産確
保ヲ期スル上ニ於テノ農業ノ再建、ソ
レカラ戰災地ノ復興、軍需産業ノ解體
並ニ之ヲ平和産業ニ切替ヘテ行クコ
ト、又食糧増産ノ基礎的條件デアリマ
ス所ノ肥料トカ、石灰、鐵鋼ニ付キマシ
テノ基礎産業ノ開發等、色々綜合的關
聯ニ付キマシテ、急速ニ是等ノ計畫ヲ
立テマシテ、過大ナ人口ノ收容ニ遺憾
ナイヤウナ目途ノ下ニ國土計畫ヲ考ヘ
ナケレバナラヌト思フデアリマス、
隨ヒマシテ是等ノ主目的ヲ計畫スル場
合ニ於テハ、國土計畫ハ唯單ニ抽象的
ニ都市計畫トハ違ヒマシテ、總テノ方
面ニ御存ジノ通りニ關係ガアリマスガ
ラ、唯單ニ內務省ダケデ之ヲドウスウ
スルコト云フコトハ非常ニ重荷デアリマ
スケレドモ、併シナガラ現在內務省ニ
於テ之ヲ總括シテ居ル關係上、私ノ方
ト致シマシテハ敗戦後此ノ縮小セラレ
タ國土、又過大ナ人口ヲ今後ドウシテ
生カシテ行クカト云フ點ニ付キマシ
テ相當研究ヲ重ネテ居リマシテ、漸ク
一案ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ
案ヲ、先程御尋ネニナリマシタ國土計
畫ノ審議會ガ成立致シマシタナラバ、
之ニ掛ケマシテ、本當ノ固マツタモノ
ニシテ發表致シタイト思ヒマス、尙ホ
先程ノ過大人口ヲ今後ドウシテ配分ス

テ居リマシタ爲ニ、非常ニ應大ナ國土
計畫ノ構想ヲ練ツテ居ツタデアリマ
スケレドモ、敗戦後ニ於キマシテハ御
存ジノ通り「ボツダム」宣言ノ要請ヲ完
全ニ遂行スルコト共ニ、民主主義國家ノ
建設ヲ圖ル爲ニハ、非常ニ少クナリマ
シタ國土ニ、而モ過大ナ人口ヲ收容シ
テ如何ニシテ今後日本國ガ存在シテ行
クカト云フコトガ主目的ニナツテ居ル
ノデアリマス、其ノ爲ニハ第一ニ、考
ヘナケレバナラヌコトハ、食糧増産確
保ヲ期スル上ニ於テノ農業ノ再建、ソ
レカラ戰災地ノ復興、軍需産業ノ解體
並ニ之ヲ平和産業ニ切替ヘテ行クコ
ト、又食糧増産ノ基礎的條件デアリマ
ス所ノ肥料トカ、石灰、鐵鋼ニ付キマシ
テノ基礎産業ノ開發等、色々綜合的關
聯ニ付キマシテ、急速ニ是等ノ計畫ヲ
立テマシテ、過大ナ人口ノ收容ニ遺憾
ナイヤウナ目途ノ下ニ國土計畫ヲ考ヘ
ナケレバナラヌト思フデアリマス、
隨ヒマシテ是等ノ主目的ヲ計畫スル場
合ニ於テハ、國土計畫ハ唯單ニ抽象的
ニ都市計畫トハ違ヒマシテ、總テノ方
面ニ御存ジノ通りニ關係ガアリマスガ
ラ、唯單ニ內務省ダケデ之ヲドウスウ
スルコト云フコトハ非常ニ重荷デアリマ
スケレドモ、併シナガラ現在內務省ニ
於テ之ヲ總括シテ居ル關係上、私ノ方
ト致シマシテハ敗戦後此ノ縮小セラレ
タ國土、又過大ナ人口ヲ今後ドウシテ
生カシテ行クカト云フ點ニ付キマシ
テ相當研究ヲ重ネテ居リマシテ、漸ク
一案ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ
案ヲ、先程御尋ネニナリマシタ國土計
畫ノ審議會ガ成立致シマシタナラバ、
之ニ掛ケマシテ、本當ノ固マツタモノ
ニシテ發表致シタイト思ヒマス、尙ホ
先程ノ過大人口ヲ今後ドウシテ配分ス

テ居リマシタ爲ニ、非常ニ應大ナ國土
計畫ノ構想ヲ練ツテ居ツタデアリマ
スケレドモ、敗戦後ニ於キマシテハ御
存ジノ通り「ボツダム」宣言ノ要請ヲ完
全ニ遂行スルコト共ニ、民主主義國家ノ
建設ヲ圖ル爲ニハ、非常ニ少クナリマ
シタ國土ニ、而モ過大ナ人口ヲ收容シ
テ如何ニシテ今後日本國ガ存在シテ行
クカト云フコトガ主目的ニナツテ居ル
ノデアリマス、其ノ爲ニハ第一ニ、考
ヘナケレバナラヌコトハ、食糧増産確
保ヲ期スル上ニ於テノ農業ノ再建、ソ
レカラ戰災地ノ復興、軍需産業ノ解體
並ニ之ヲ平和産業ニ切替ヘテ行クコ
ト、又食糧増産ノ基礎的條件デアリマ
ス所ノ肥料トカ、石灰、鐵鋼ニ付キマシ
テノ基礎産業ノ開發等、色々綜合的關
聯ニ付キマシテ、急速ニ是等ノ計畫ヲ
立テマシテ、過大ナ人口ノ收容ニ遺憾
ナイヤウナ目途ノ下ニ國土計畫ヲ考ヘ
ナケレバナラヌト思フデアリマス、
隨ヒマシテ是等ノ主目的ヲ計畫スル場
合ニ於テハ、國土計畫ハ唯單ニ抽象的
ニ都市計畫トハ違ヒマシテ、總テノ方
面ニ御存ジノ通りニ關係ガアリマスガ
ラ、唯單ニ內務省ダケデ之ヲドウスウ
スルコト云フコトハ非常ニ重荷デアリマ
スケレドモ、併シナガラ現在內務省ニ
於テ之ヲ總括シテ居ル關係上、私ノ方
ト致シマシテハ敗戦後此ノ縮小セラレ
タ國土、又過大ナ人口ヲ今後ドウシテ
生カシテ行クカト云フ點ニ付キマシ
テ相當研究ヲ重ネテ居リマシテ、漸ク
一案ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ
案ヲ、先程御尋ネニナリマシタ國土計
畫ノ審議會ガ成立致シマシタナラバ、
之ニ掛ケマシテ、本當ノ固マツタモノ
ニシテ發表致シタイト思ヒマス、尙ホ
先程ノ過大人口ヲ今後ドウシテ配分ス

テ居リマシタ爲ニ、非常ニ應大ナ國土
計畫ノ構想ヲ練ツテ居ツタデアリマ
スケレドモ、敗戦後ニ於キマシテハ御
存ジノ通り「ボツダム」宣言ノ要請ヲ完
全ニ遂行スルコト共ニ、民主主義國家ノ
建設ヲ圖ル爲ニハ、非常ニ少クナリマ
シタ國土ニ、而モ過大ナ人口ヲ收容シ
テ如何ニシテ今後日本國ガ存在シテ行
クカト云フコトガ主目的ニナツテ居ル
ノデアリマス、其ノ爲ニハ第一ニ、考
ヘナケレバナラヌコトハ、食糧増産確
保ヲ期スル上ニ於テノ農業ノ再建、ソ
レカラ戰災地ノ復興、軍需産業ノ解體
並ニ之ヲ平和産業ニ切替ヘテ行クコ
ト、又食糧増産ノ基礎的條件デアリマ
ス所ノ肥料トカ、石灰、鐵鋼ニ付キマシ
テノ基礎産業ノ開發等、色々綜合的關
聯ニ付キマシテ、急速ニ是等ノ計畫ヲ
立テマシテ、過大ナ人口ノ收容ニ遺憾
ナイヤウナ目途ノ下ニ國土計畫ヲ考ヘ
ナケレバナラヌト思フデアリマス、
隨ヒマシテ是等ノ主目的ヲ計畫スル場
合ニ於テハ、國土計畫ハ唯單ニ抽象的
ニ都市計畫トハ違ヒマシテ、總テノ方
面ニ御存ジノ通りニ關係ガアリマスガ
ラ、唯單ニ內務省ダケデ之ヲドウスウ
スルコト云フコトハ非常ニ重荷デアリマ
スケレドモ、併シナガラ現在內務省ニ
於テ之ヲ總括シテ居ル關係上、私ノ方
ト致シマシテハ敗戦後此ノ縮小セラレ
タ國土、又過大ナ人口ヲ今後ドウシテ
生カシテ行クカト云フ點ニ付キマシ
テ相當研究ヲ重ネテ居リマシテ、漸ク
一案ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ
案ヲ、先程御尋ネニナリマシタ國土計
畫ノ審議會ガ成立致シマシタナラバ、
之ニ掛ケマシテ、本當ノ固マツタモノ
ニシテ發表致シタイト思ヒマス、尙ホ
先程ノ過大人口ヲ今後ドウシテ配分ス

ルカト云フ御尋ネデアリマシタケレドモ、是ハ今暫定のナリ此ノ案ノ一部トシテ、私モ先程ノ御質問ト同様ナ趣旨ニ於テ、今後ニ於テ此ノ過大人口ハ少クトモ農村ニ於テ之ヲ收容シテ貰ヒタイ、出來ルダケ都市ノ膨脹ヲ抑制スルト云フ方針ノ下ニ、農業地ノ増大ト、隨テ農村ノ文化施設ノ向上ト云フヤウナ面ト結合セテ、田舎ノ方ニ出來ルダケ人口ヲ收容シテ貰ヒタイ、就キマシテハ、ハ一ツノ構想デアリマスルケレドモ、今後五箇年間ニ於テ日本ノ人口ガ八千萬人ニナルモノト云フ場合ニ於テハ、農村ト都市ニ於テドウ云フヤウナ人口ノ配分計畫ヲシテ居ルカト申シマス、大體我々ノ狙ツテ居ル所ハ、都市ニ三千萬、農村ニ於テ五千萬ト云フ人口ヲ收容スルノガ適當デハナイカト思フデアリマス、尙ホ戰災地ノ工業配分、或ハ又全國的ナ工業配分ニ付キマシテハ、御存ジノ通り工業ガ賠償ノ對象トナルノガ相當アリマスカラ、今直チニドウ云フモノガ殘ルカト云フ見透シハ付キマセヌケレドモ、ドウシテモ日本ノ將來ノコトヲ考ヘマスレバ、或ル面ニ於テハ重工業ナリ、或ハ輕工業其ノ他ノ工業ハドウシテモ存置シナケレバナラヌ爲ニ、サウ云フヤウナコトモ配分計畫ハ持ツテ居リマスケレドモ、是ガ最終的ノモノデアリマセヌカラ、此ノ席ニ於テ發表スルダケノ城ニ達シテ居リマセヌ、其ノ他各都市ノ人口配分ニ付キマシテハ、我々ノ方ノ案トシテ今後各方面ノ専門家ニ御集リ願フテ、十分検討シテ貰ツタ上ニ於テ總テノ人口ヲ、此ノ位ガ適當デハナイカト云フヤウナコトモ發表出來ルヤウニナルダラウト考ヘテ居リマス、以上御答ヘ申上ゲマス

○大橋政府委員 都市計畫委員會ノ運用ニ付キマシテ御質問ガゴザイマシタガ、現在都市計畫委員會ノ運用ト致シマシテハ、此ノ委員會ノ委員ヲ出來ルダケ其ノ地方ノ實情、又地方ノ民意ヲ反映出來ルヤウナ人ヲ網羅スルヤウニ指導ヲ致シテ居リマス、尙ホ此ノ都市計畫委員會ノ外ニ、當局ト致シマシテハ關係ノ市町村ニ特別ノ復興委員會ト云フヤウナモノガ出來ルヤウニ指導シ、其ノ市町村ノ都市計畫ニ付キマシテハ、其ノ市町村ニ於ケル復興委員會、是ハ市町村制ノ委員會デゴザイマシテ、都市計畫ノ委員會デハゴザイマセヌ、都市計畫法上ノ意義ヲ持ツモノデハゴザイマセヌガ、實際上其ノ委員會ニハ其ノ地方ノ各方面ノ關係者、識者ヲ網羅致シマシテ、地方ノ民意ガ反映ヲ致シテ居リマス、サウシテ地方ニ於ケル計畫ト云フモノハ、此ノ復興委員會ヲ通ジテモノガ案トシテ復興院ノ方ヘ出テ來ル、復興院デハ其ノ地方ノ市町村ニ於ケル委員會ヲ通り、府縣廳ヲ通ジテ出テ來ル案ニ對シテ、法律上ノ手續トシテ地方ノ都市計畫委員會ニ諮問スルト、斯ウ云フ風ナリ方ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、勿論此ノ場合ニ於ケル計畫モ、其ノ地方委員會ニ於ケル意見ハ出來ルダケ之ニ據ルベキモノデゴザイマシテ、事實上地方ノ委員會等ノ意見ガ當局ニ於テ採用サレナカッタト云フ實例ハゴザイマセヌ

○途ノ措置ニ依ツテ之ヲ講ズベキモノト考ヘマシテ、此ノ法案自體ニ於ケルマシテハ、過大都市ヲ直接抑制スベキ有效ナル規定ト云フモノハ入ツテ居リマセヌ、ソレカラ都市ニ於ケル大ナル宅地ヲ制限スルヤウナ規定ヲ置イテハナイト云フ點デゴザイマスルガ、大ナル宅地ガ色々ナ意味カラ言ヒマシテ、今後都市ニ於テハ問題ニナルト存ズルノデゴザイマスルガ、本法案ニ於ケルマシテハ區劃整理減歩ノ結果、過小宅地ヲ整理スルコトニナル、其ノ整理ヲスル爲ニ、從來ノ過小宅地ニ却テ逆ニ敷地ノ廣サヲ増シテラナケレバナラヌ場合、又一般ノ率ヨリモ減ス率ヲ小ナル宅地ニ付テハ減サナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ場合ニ於ケルマシテハ、其ノ小ナル宅地ニ於テ減歩ガ少クナツタダケ之ヲ何處カニ於テ埋合セナケレバナリマセヌノデ、是ハ出來ルダケ大ナル宅地ニ於テ、ソレダケノ減歩ヲ餘計負擔シテ貰フト云フ方法ヲ探ルコトニ致シテ居リマス、是ハ第七條ノ第二項ニ其ノ旨ガ規定致シテゴザイマス

○中田政府委員 只今耐火性ノ建築物ノ助成ニ付テノ御質問ガアリマシタノデ、其ノ分ヲ御答ヘシマス、戰災都市ノ建築物ニ付キマシテハ、恒久對策ト致シマシテハ能フ限り耐火性ノ建築物ニ致シタイト云フコトハ、強イ我々ノ方針デアリマス、併シナガラ其ノ耐火性ト申シマシテモ、其ノ階數等ハ、平家トカ或ハ二階建ト云フヤウナコトデナシニ、能フ限り立體制ニ四階或ハ五階ト云フヤウニ致シマシテ、土地ノ活用ニ資シタイト云フ考ヘデアリマシテ、之ニ依ツテ建設サレル都市ハ、明ルク能率的名モノニ致シタイ根本ノ考ヘデアリマス、併シナガラ是等ノ建築ニ付キマシテハ多大ノ資材ガ要リマシマシテ、全部之ヲ鐵筋「コンクリート」ニ致シマスコトハ、中々容易ナラヌ資材難ニ打突カルト思ヒマス、隨ヒマシテ現在ニ於ケルマシテモ、復興院ニ於ケルマシテ研究所ニ於テ、未利用資材ノ活用方法等ニ付テモ研究ヲ進メテ居リマス、

○日高政府委員 初メニ戰災學校ノ概要デケテ申上ゲマス、今度ノ罹災致シマシタ學校ノ中、被害ノ輕微モノヲ除キマス、大學ガ三十一校、高等學校ガ二十三校、專門學校ガ百十四校、教員養成所學校ガ六十二校、中等學校ガ五百九十六校、青年學校ガ九百六十三校、國民學校ガ千六百十四校合計シマス、二千九百五十三校ト非常ナ多數ニ上ツテ居リマスノデ、是等ノモノヲ復興サセルコトハ、今日ノ日本ノ文化ヲ昂揚シ教育ヲ充實サセル爲ニハ、非常ニ必要ナモノデハゴザイマスルケレドモ、他ノ省カラモ御説明ガアツタカト存ジマスケレドモ、復興ノ爲メノ資材ハ非常ニ窮乏デゴザイマシテ、急ニ之ヲ復興スルコトハ中々困難デアリマス、ソレダケノ所デハ殘存ノ建築物ヲ應急ニ修理致シマシテソレヲ最大限ニ使フ、例ヘバ二部教授スルカ、或ハ一ツノ校舍ヲ二ツノ學校デ使フカ云フヤウナ方法ヲ一方デハ執リマス同時ニ、元ノ軍事施設等ノ建築物ヲ出來ルダケ活用シテ、急ニ間ニ合セルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス、文部省ト致シマシテハ、今度ノ戰災ニ依リマシテ色々ナ災害ヲ受ケマシタ經驗カラ考ヘマシテ、出來ルダケ適當ニ學校ノ配分ヲ考ヘタイト云フコトハ念願致シテ居リマスガ、事實上校舍ヲ移スト云フヤウ

ナコトハ非常困難ニ達著致シテ居リマスノデ、今ノ場合ハ應急ノ處置トシテ、主ニ軍ノ學校或ハ施設ノ轉用ト云フ所ニ目標ヲ置キマシテ、ソレヲ成ベク支障ノ少イヤウニ配當スル爲ニ、臨時ニ學校施設ヲ考ヘル施設部ヲ設ケマシテ、大藏省ノ方ト御相談致シテ、其ノ重要度並ニ緊急度ト云フヤウナコトヲ勘案致シテ處置ヲ決定致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ復興ニ要シマス資金其ノ他ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ今日ハ色々ノ制限ガアリマシテ、必ズシモ教育ノ爲メデアアルカラ凍結サレテ居ル資金ガ融通出來ルト云フ風ニナツテ居リマセヌノデ、是等ノ點ニ付テハ今後ノ日本ノ教育ヲ復興サセル爲メノ最大ノ必要事項デアリマスノデ、寄リノ研究致シマシテ、大藏當局並ニ物資ノ方デハ商工省「マ」司令部關係ナドノ宜ク諒解ヲ得マシテ、成ベク教育ニ關スル資金ノ融通ノ付キマシヤウニ骨折リヲ致シテ居リマス、マダ十分ノ成案ヲ得テ居リマセヌノハ甚ダ申譯ゴザイマセヌガ、サウ云フ意圖ヲ以テマシテ研究中デゴザイマス

○大橋政府委員 綠地地域ニ於キマスル土地利用ノ制限ト致シマシテハ、綠地地域ノ建物ノ新築、又ハ増築ノ制限ト云フコトガ損ヒニ相成ツテ居リマス、即チ農業、林業、畜産業、又ハ水産業ヲ營ムニ付テ、必要ナル建築物、或ハサウ云フ仕事ニ從事シテ居リマス者ガ居住スル爲ニ使フ所ノ建築物、ソレカラ公園、運動場ノヤウナ施設ニ付隨シタ所ノ建築物、又建築物ノ敷地ノ面積ニ比シマシテ著シク條件率ノ低い建物、斯ウ云ツタヤウナ建物、即チ綠地ノ效果ヲ害シナイ、又ハ綠地ノ利用上必要デアルト云ツタヤウナ建物ダケヲ認メテ行ク、斯ウ云フ風ニ致シタイト思フテ居リマス

○鹿島委員 マダ御答辯ガナイ所ガアリマスガ、又何レカノ機會ニ致シマス

○林田委員長 ソレデハ午前中ハ之ヲ以テ會議ヲ閉ジマシテ、午後二時カラ會議ヲ續行致シマス

午後二時五分開議

○林田委員長 ソレデハ午前中ニ引續イテ會議ヲ開キマス、午前ノ質問ニ對シテ政府委員ノ答辯漏レガアルサウデスカラ、其ノ御答辯ヲ御願ヒシマス

○大橋政府委員 午前中ノ鹿島委員ノ御質問中、答辯漏レノ事項ニ付テ御答ヘ申上デマス、御質問ハ軍部、軍港或ハ軍ノ工廠ノ如ク、軍關係ノ施設ニ依ツテ、之ヲ基礎トシテ立ツテ居ツタ都市ノ復興ニ付テハ、特別ノ考慮ガ必要デアルト云フ趣旨ノ御質問デゴザイマス、此ノ點ハ當局ト致シマシテモ全ク同感ニ存スルノデゴザイマス、特ニ軍港ニ付キマシテハ、其ノ港灣ノ商業上ノ港トシテ轉換スルコトノ可否、又之ヲ港トシテ其都市ガ商業都或ハ工業都トシテ立チ得ルカ否カト云フヤウナ點ガ問題ニナル譯デゴザイマス、又軍ノ工廠ノアリマシタ都市ニ於キマシテハ、此ノ工場設備ヲ平和産業ニ轉換スルト云フ問題モアル譯デゴザイマスガ、併シナガラ此ノ點ハ工廠ニ於ケル設備ハ主トシテ賠償ノ對象ニナルモノガ多イヤウナ關係上、工廠自體ノ轉換ト云フコトガ今尙ホドウ云フ方向ニ持ツテ行クベキカト云フヤウナ點ニ付テ、或ル時期ヲ經マセヌト云フト、隨タル見透シガ付カナイヤウナ實情ニア

或ハ軍ノ學校等ノアリマシタ都市ガ、是等ノ施設ノナクナツタ後ニドウナルカト云フ問題ガアル譯デゴザイマスガ、是ハ午前中ニモ他ノ政府委員ヨリ答辯ノアリマシタ學校ノ分散ノ問題等ト混シ合セマシテ、適當ナル所ニ適當ナル學校ヲ移轉スル、此ノ問題ハ方針サヘ決定致シマスナラバ、比較的簡單ニ實現シ得ルモノト考ヘテ居ルノデゴザイマス、何レニ致シマシテモ軍部、軍港、工廠所在地等ノ都市ト致シマシテハ、是等ノ都市ノ將來ト云フ問題ニ付キマシテハ、先ツ第一ニ都市自身ガ、市民自身ガ問題ニ致シテ居リマシテ色々ト考究中デアリ、又各方面ノ手藝ヲ求メテ、必要ナル工場或ハ學校等ノ施設ヲ誘致スルヤウニ努メテ居ルガ現在ノ狀況デゴザイマス、政府ト致シマシテハ是等ノ都市ノ實情ヲ能ク見マシテ、必要ナル場合ニ於キマシテハ、無論政府トシテ其ノ更生ニ必要ナル援助ヲシナケレバナリマセヌシ、又御述べニナリマシタ通り、地方計畫乃至國土計畫ノ觀點カラ此ノ問題ヲ取上ゲテ、國土計畫ノ上ノ大キナ題目ノ一ツトシテ考究スル手筈ニ相成ツテ居リマス

○鹿島委員 委員長、一寸モウ一ツ大體分リマシタガ、モウ一ツ小サイ問題デスカ關聯ガアリマスカラ、一寸御尋ネシテ置キタイノハ、此ノ復興ニハ規格ノ整備ガ非常ニ必要デアリマスガ、特ニ「メートル」法ガ現在デハ全面的ニ採用致シテ居リマセヌ、復興院トシテ「メートル」法ノ全面採用ニ付テドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルカ、一言御聽キシテ置キタイト思ヒマス

○大橋政府委員 「メートル」法ニ付キマス、復興院ト致シマシテハ出來

得ル限り之ニ依ルヤウニ努メテ居リマス、既ニ市街地建築物法ニ於キマシテハ、其ノ規格ハ「メートル」法ニ依ツテヤツテ居リマス、隨ヒマシテ建築物ノ取締等ニ付キマシテモ、出來得ル限り「メートル」法ニ依ツテ取締ルコトニ相成ツテ居リマス、又一般土木ニ付キマシテモ道路、橋梁其ノ他ノ規格ハ殆ド「メートル」法ニ依ツテ居ルヤウナ實情デゴザイマシテ、復興院ト致シマシテハ「メートル」法ニ付キマシテハ、之ヲ出來ルダケ速カニ土木建築ノ全面ニ此ノ方式ガ採用セラレルコトヲ希望致シテ居リマス

○林田委員長 ソレデハ通告順ニ從ヒマシテ西村久之君

○西村(久)委員 此ハ此ノ機會ニ極ク簡單ニ、戰災復興ノ問題ニ關シマス政府當局ノ御意見ヲ二、三御質問ニ對シテ存ズルノデアリマス、午前中ノ會議ニ鈴木君カラ下水道關係ノ施設ニ對シテ、適當ナル計畫ヲ立テテ必要ハナイカト云フヤウナ御尋ネガアリマス、私モソレニ對シテ同意見ヲ有スルノデアリマスガ、是ト相關聯致シマス、斯クノ如キコトハ今後ナイト豫想シナケレバナリマセヌノデ、百年ノ大計ヲ立テテ戰災都市ノ復興ト致シマシテハ、外ニ出テ居リマス所ノ電信、電話線全部ノ外カラ地下ニ埋メテ、地下施設ニ變ヘルベキガ今後ニ於ケル大都市計畫ノ最モ必要ナル施設ノ一ツデハナカラウカト云フコトヲ痛感スルノデアリマス、外ニ出テ居リマス關係カラ、火災デモアリマスレバ直チニ電信、電話線ニ故障ヲ起シマシテ、通話ハ杜絶サレ、ソレガ機關ヲ發揮スルニ不便ヲ感ズル例少クナイノデアリマス、斯ウ云フ風ナコトヲ考ヘマシテ、

將來ニ於ケル大都市計畫スルニハ、此ノ戰災復興ニ當リマシテ電信、電話線ヲ地下ニ變ヘラレル御計畫ノ下ニ進メラレヨウトスル御意圖ヲ持ツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ一ツ御尋ネ申上ゲマス

○阿部(義)政府委員 先程來上下水道

次ニ廣島、長崎ノ如ク世界ニ比類ノナイ原子力ヲ持ツタ爆彈ヲ以テ見舞ハレマシタ、其ノ慘狀眼モ當テラレナイヤウナ戰災都市中ノ慘狀ヲ呈シタ都市ガアルノデアリマスガ、此ノ都市ハ他ノ都市ノ燒夷彈、爆彈ノ被害ト趣キヲ異ニ致シマシテ、時間タルヤ一秒半乃至二秒ノ瞬間ニ於キマシテ全家屋ハ倒壊ヲ致シマスルシ、人畜ハ即死スルシ、遠方ノ距離ニアリマス所ハ一定ノ離レタル地點ニアリマス所ハ人類ニ致シマシテモ、原子爆彈ノ被害ヲ受ケマシテ、一週間、二週間日死シマシマフト云フヤウナ悲惨ナル狀況ヲ呈シタノデアリマス、斯クノ如キ中心地ニ當ルベキ所ノ戰災都市ハ、殆ド草木モ數十年間ハ生エヌデアリツト云フヤウニ豫想サレタ位、嚴シイ所ノ爆撃ヲ受ケタノデアリマス、隨ヒマシテ殘ツテ居リマスモノハ殆ドナイノデアリマス、鐵筋「コンクリート」建シマシテモ、一時ニ倒壊致シマシテ、鐵筋ハ飴玉ノヤウニ曲ルヤウナ實情ヲ呈シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ都市ニ於キマス戰災復興ニ當リマシテハ、特別都市計畫ニ依リマセヌ別箇ノ戰災都市ノ復興ニ、政府トシテハ御留意ニナツテ然ルベキデハナイカト思フノデアリマス、隨ヒマシテ原子爆彈下ニ於ケル戰災都市ノ復興計畫ニ、別途ノ成案ガアラレルカドウカト云フ點ヲ御尋ネ申上ゲテ見タイノデアリマス

○阿部(義)政府委員 先程來上下水道

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

上ゲテ見タイノデアリマス

ツテ居ルトハ信ズルノデアリマスル
ガ、御高見ヲ此ノ際拜聴サシテ戴キタ
イノデアリマス

其ノ次ニ御尋ネシテ置キタイノハ、
今日ノ日本ノ實情カラ見マス、物價
ハ段々高クナリ、物資ハ段々拂底スル
ト云フヤウナ、所謂インフレノ状態ニ
ナツタ今日ニ、其ノ考ダケデ都市計費
ハ勿論御立テニナツテハ居ラヌト思フ
ノデアリマスルガ、將來、數年ナラズ
シテ世界ノ産業ガ一大變換ヲナスコト
ヲモ豫想致シマスル、物資ハ氾濫
シ、物價ハ低落シテ、サウシテ今ノ
「インフレ」状態ハ逆ナ結果ヲ來スコト
ヲモ、我々ハ將來ノ日本ト致シマシテ
ハ豫想シナケレバナラヌト思フノデア
リマス、サウシテ際ニ國土局長ノ御説
明ニ依リマス、日本ノ八千萬ノ人口
ノ中デ三千萬ハ都市、五千萬ハ農村ガ
適當ト考ヘテ居ルト云フ御話ガアリマ
シタガ、此ノ五千萬ノ農村ノ人口ガ、
今日ノヤウナ日本ノ農業形態デ果シテ
生活シ得ルカドウカト云フコトハ、私
ハ極メテ困難デハナイカト思フノデア
リマス、斯ウ云フコトヲ考ヘタ時ニ、
今日ノ日本ノ農村ハ單ナル耕作農民ト
シテノミナラズ、進シテ農村ニ於ケル
所ノ工業化、電化、斯ウ云フモノヲ急
速ニ發展サセナケレバナラヌ實情ガ必
ズ來ルノデハナカラウカト云フコト
ヲ豫想致シマシタ時ニ、ヤハリ此ノ都
市計費ノ中ニ於ケル工場等ノ中デ、農
村ハ分散サレベキモノガ相當アルノデ
ハナカラウカト思フ、斯ウ云フコトモ
ヤハリ計畫ノ中ニ入ラレツ、此ノ都
市計畫ガ作ラレテ居ルカドウカ、斯
ウ云フ點ヲ御尋ネシテ置キタイノデア
リマス

ソレカラモウ一ツ御尋ネシテ置キタ

イノハ、斯ウ云フ機會ニ、動トモスル
ト從來ノ都市計畫ト云フモノガ戰爭ヲ
豫想シテ計畫ヲ立テラレタ爲ニ、軍
閥地主ト云フ者ノ爲ニハ相當ニナツテ
居ルガ、反對ニ小市民、或ハ小地主
ト云フモノガ色々收拾ノ付カヌ犧牲ヲ
拂ツテ居ル局面モ相當アルノデアリ
マス、聞ク所ニ依リマス、大都市ノ
附近ノ農村、或ハ其ノ中ニ自作農ノ創
定ノ爲ニ、農地調整法ノ適用ヲ受ケン
トスル農民ガ居ル際ニ、地主ノ方デハ
特別都市計畫法ノ指定ヲ受ケルコトニ
依ツテ、此ノ農地調整法ノ適用ヲシナ
イコトニナルト云フコトヲ聞キ付ケ

テ、特別都市計畫法ノ指定ヲ受ケルベ
ク農林當局ノ非常ニ陳情等ヲ致シテ居
ル向モアルノデアリマス、其ノ反對ニ
又農民ノ方ニモ、ソレハ不都合ダ、非
常ニ生活ヲ脅スト云フノデ、心配シテ
居ル向モ聞キ及ンデ居ルノデアリマス
ガ、サウ云フコトニ付テハ、單ナル政治
運動ガサレタコトニ當局ガ動カサレ
ヤウナコトハ、私ハ斷シテナイト信ジ
テ居ルノデアリマスルガ、サウ云フコ
トニ付テ農林當局カラ、自作農創定等
ノ今日ノ食糧問題ノ大切ナ場合ニ、農
林當局ノ意思ト云フモノハ決シテ、變
ラナイ御意見ヲ持ツテ居ルカドウカト
云フ點ヲモウ一ツ御聞カセテ置キタイ
ノデアリマス、尙ホ一、二御聴キシタイ
御伺ヒシタイト思ヒマス

キマシテモ、資金ノ面ニ於キマシテ
モ、特ニ又國家財政ノ面ニ於キマシテ
モ、極メテ困難ナ實情ニアルノデゴザ
イマシテ、是ガ爲ニ何年計畫ト云ツタ
ヤウナ計畫ヲ立テテ、サウシテ其ノ通
リニ漸ク追ウテ毎年度々々所定ノ計
畫ニ從ツテ此ノ事業ヲ完成ニ運ブト云
フコトハ頗ル困難デゴザイマス、隨ヒ
マシテ豫算ノ計畫ト致シマシテモ、在來
此ノ種ノ事業ニ於テ執ラレテ居リマシ
タヤウナ繼續年度ヲ定メテ、繼續費ト
シテ之ヲ定メルト云フヤウナ方法ハ執
ツテ居ラヌノデゴザイマシテ、其ノ理
由ハ全ク御指摘ニナリマシタヤウナ國
家財政ノ見透シ、又産業回復ニ對スル
今後ノ見透シ、資材、資金其ノ他ノ面
ニ付テ今後ノ見透シト云フモノガ、
全ク茲ニ、二年間ノ今後ノ狀況ニ依ツ
テ、或ル程度定マツテ行ク、今現實ノ
段階ニ於テハ其ノ見透シガ困難デアル
ト云フヤウナ理由ニ基イタ結果デゴザ
イマス、斯様ナ次第デゴザイマスカラ
シテ、何時マデ掛ルカト云フ御質問ニ
對シマシテ、何時頃マデニ出來上ル豫
定デアルト云フヤウナ御答ヘヲ申上ゲ
ルコトハ頗ル困難デアリマスルガ、併
シ當局ト致シマシテハ、大體事情ガ許
シ得ルナラバ此ノ程度ニ運シテ行キタ
イト云フヤウナ目安ト申シマス、或
ハ目安ト申シスヨリモ一應ノ大體把握ナ
當ト申シマス、豫定ト云フヤウナハ
ツキリシタ形ヲ持ツテ居リセヌガ、漠
然タ見透シダケハ付テ居ルノデゴ
ザイマス、ソレハ主トシテ幾テ急イデ
モ此ノ位ハ掛ルデラウト云フヤウナ點
カラ、寧ろ仕事ノ分置ト云フ、仕事ノ進
捗ノ實際ノ速度、サウ云ツタヤウナコ
トヲ豫想シテ見當ラ付ケタ見透シト云
フヤウナモノガアル譯デゴザイマス、

ソレハ大體土地區劃整理ニ付キマシテ
ハ五年乃至六年、道路、水道、下水道、
公園、其ノ他此ノ種ノ都市ノ各種ノ施
設ニ付キマシテハ二十年乃至三十年位
ト云ツタヤウナ目安ハ、一應付テ居
ルデゴザイマス、勿論此ノ中特ニ區
劃整理ノ五年乃至六年ト云フヤウナ短
期ノモノニ付キマシテハ、資材、資金
其ノ他ノ實情ガ頗ル圓滑ニ行ツタ場合
ニ、此ノ程度デ完成得ルト豫定シ得ル
ノデゴザイマス、其ノ圓滑ニ行ツカド
ウカ、ソレノ見透シト致シマシテハ、
今一寸私共ノ方デモ立チ兼テ居ルヤ
ウナ次第デゴザイマス、是ハ今後我ガ
國ノ經濟ガ如何ニ安定スルカト云フヤ
ウナ大キナ根本ノ問題ニ依ツテ、此ノ
年限ハ左右サレルモノト御承知ヲ願ヒ
タイノデゴザイマス、斯様ニ此ノ復興
事業ノ完成ト云フモノハ、相當長期ノ
遠イ將來ニナル次第デゴザイマスカラ
シテ、ソレマデノ間ニ色々實情ガ變
更シテ、其ノ結果折角ノ計畫ガ出來上
ツタ頃ニハ、時代遅レニナルト云フヤ
ウナ心配モ十分ニアルノデゴザイマ
ス、此ノ點ニ付キマシテハ色々技術
上ノ點カラ考慮ヲ致シマシテ、道路ノ
幅ニ致シマシテモ、又公園、綠地等ノ
割合等ニ致シマシテモ、現在アリマス
外國ノ都市計畫ノ理論ニ基キマシ
テ、我ガ國ノ實情ニ之ヲ合セテ、又今
後ノ交通機關、今後ノ我ガ國ノ産業ノ
方面ト云ツタヤウナ點ヲ、出來得ル
限り遠イ將來ヲ考慮ニ入レタ上デ、決
定シテ參ルヤウニ致シテ居ル次第デゴ
ザイマス、特ニ將來ノ我ガ國ノ産業
ガ、石炭ヲ基礎トシタ産業カラ電氣ヲ
基礎トシタ産業ニ入ツテ行カナレバ
ナラヌト云フ御説ニ付キマシテハ、私
共モ全ク同感デアリマシテ、今後所謂

電源ニ近接致シテ居リマスル東北、或
ハ中部、或ハ南九州、是等ノ方面ニ於
ケル産業ノ發達ト云フコトハ、國土計
畫ノ面カラ云ツテモ十分ニ力ヲ入レナ
ケレバナラヌ點デアリマシテ、此ノ方
面ニ於ケル都市計畫、殊ニ其ノ都市ニ
伴ヒマス所ノ港灣トカ道路、鐵道ト云フ
ヤウナ工場地帯ヲ造成スル色々要素
ニ付テハ、十分研究シタ上デ、都市計
畫ヲ決メテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居
リマス

ソレカラ次ニ學校ヲ分布スルコトニ
付テ、現在マデノ學校ハ國民生活ノ實
情ニ即應シテ居ラヌカラ、今後學校ノ
分布ヲ考ヘルニ當ツテハ、國民生活ト
表裏一體ニナルヤウナ學校教育ト云フ
モノヲ豫定シテ、是等ノ配置ヲ決定シ
ナケレバナラヌト云フ御意見ニ付キマ
シテハ、是レ亦全ク同感デゴザイマ
ス、今マデノ學校教育ガ動トモスルト
實地カラ遊離シタ單ナル學問ノ切實ト
申シマス、理論ダケト申シマス、
實地ト即應シナカッタヤウナ學校モ可
ナリアツタト思フノデゴザイマス、是
ハ御指摘ニナリマシタ通り、從來ノ學
校ガ主トシテ大都市ニ集中シタ結果、
其ノ學校ノ基礎ニナルベキ産業其ノ他
ノ立地條件ヲ無視シテ作ラレタ爲ニ、
其ノ教育ガ空疎ニナツテ居ツタト云フ
ヤウナ點ハ確カニアルト存ジマス、今
後國土計畫ニ依ツテ學校ノ配置ヲ決定
スルニ當リマシテハ、御指摘ニナリマ
シタヤウナ水産ノ方面ニハ水產關係ノ
學校、工場ノアル所ニハ工場方面ノ學
校、斯ウ云ツタヤウナ見地カラ學校ノ
配置ナリ、或ハ又色々ナ研究機關、其
ノ他ノ文化施設ノ配置ト云フヤウナモ
ハ決定シナケレバナラヌト思ツテ居
ルノデゴザイマス

ソレカラ第三ニ港灣ノ施設ノ從來ノ缺點ニ付テ御指摘ニナリマシテ、特ニ港灣ノ從來ノ設備ト云フモノガ、水上ノ設備ノミデアツテ、荷物ヲ扱フ所ノ陸上設備ト云フヤウナモノガ缺ケテ居ツタト云フコトハ、是レ亦當局トシテモ十分認識居ル所デゴザイマス、特ニ外國ニ於キマシテハ、港灣ト云フモノハ水陸ノ境界デアリマシテ、水陸ノ施設ガ一體トナツテ茲ニ港灣ノ設備ガ出來テ居ルノデゴザイマス、從來ノ我が國ノ港灣ノ實情ハ、水陸ノ施設デナク、水上ノ施設ダケデアツタノデゴザイマシテ、其ノ結果港灣ノ利用價值ト云フモノガ全ク不十分デアツタ、之ヲ今度都市計畫ヲヤルニ付キマシテハ十分改良スルコト云フ考ヘノ下ニ、港灣ノ施設モ研究シテ行カナケレバナラヌ、隨ヒマシテ特ニ港灣ノ背後ヲナシマス所ノ埠頭區域、倉庫地帯、又港灣ニ接近シタル工場地帯、ソレカラ港灣ト陸上ヲ連絡スル道路、引込線、サウ云ツタ施設、又解其ノ他ノ施設、斯ウ云フヤウナ施設ハ勿論、御指摘ニナリマシタ「クレイン」其ノ他ノ荷役關係ノ設備ニ付キマシテモ、是ハ十分ニ考ヘナケレバナリマセヌノデ、港灣ノ都市計畫ニ於キマシテハ、將來是等ノ施設ガ出來得ル時期ニナツタナラバ之ヲ設備スルコトノ出來マスルヤウナ港灣ノ區域ト云フモノヲ決定シテ、サウシテ港灣計畫ヲヤツテ行ク、都市計畫モ此ノ港灣地帯ヲ本ニシテ接續シテ計畫サレテ行クト云フヤウナ見地デ計畫サレテ居ル次第デアリマス

レテヤラナケレバナラヌト云フ御説ニ付キマシテモ、是レ亦同感ニ在ルノデゴザイマス、戰爭中ニ於キマシテモ、空襲ニ對スル疎開其ノ他ノ事情ニ依リマシテ、都市ニアリマシタ工場ガ相當農村ニ移動シテ居リマス、又終戦後ニ於キマシテモ、食糧、勞力其ノ他ノ關係上、是等ノ農村ニ移動致シマシタ工場ガ都市ニ歸ツテ來テ居ナイト云フヤウナモノガ相當アルノデゴザイマシテ、是等ノ中ノ或ルモノハ其ノ權限村ニ居著イテ、農村工業トシテ將來轉換シテ行クモノモアルト存ズルノデゴザイマス、都市ノ工場地帯ヲ決定致シマスルニ付キマシテハ、無論是等ノ都市カラ出テ行ツタ工場ニ付テハ、之ヲ計算ニ入レテ決定致シマスルバカリデナク、現在都市ニアリ工場ニ付キマシテモ、今後ソレヲ農村ニ移動スル、或ハ工場ノ種類ノ變換其ノ他ニ於キマシテモ、之ヲ適當ナ地方ニ移動スルト云フヤウナコトヲ眼中ニ含メテ、其ノ工場地帯ノ決定ヲ行クベキモノト思ツテ居リマス

ソレカラ最後ニ、都市計畫法ヲ適用シタ都市ニ於テハ、農地調整法ノ適用ガナクナル結果、小地主或ハ小市民ノ犠牲ガ起ル、或ハ是ガ或ル者ハ利益ニナリ、或ハ是ガ或ル者ハ不利益ニナルト云フヤウナ點ヲ御心配ニナツテ居ツタデアリマスガ、特別都市計畫法ノ適用ガアリマシテモ、此ノ區劃調整ヲ實施致シマスル地域ハ主トシテ燒跡デゴザイマスノデ、其ノ燒跡外ニアリマスル農地等ガ此ノ區劃調整區域ニ入ルト云フコトハ原則トシテナイノデゴザイマス、隨ヒマシテ區劃調整ニ伴ヒマシテ廣イ農地ガ此ノ區域ニ入ル、ソレガ爲ニ農地ガ宅地ニ變更サレルト云フヤウナコトハ、事實上ハ殆ドナイコトニナル譯デゴザイマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ農林當局ニモ十分御諒解ヲ願ツテアルノデゴザイマシテ、本法案ニ付キマシテハ農林當局トシテモ、別ニ御異存ヲ持ツテ居ララタ次第デハゴザイマセヌ

○前田委員 大體御答辯ヲ戴イタノデ諒承致シマシタガ、尙ホ續イテ二、三御尋ネシテ置キタイノハ、西村委員カラ御意見見ガ出タノデアリマスガ、長崎、廣島兩都市ノ原子力ノ破壊ニ依ル被害ノ慘狀ニ付テハ、總裁カラ多大ノ御同情ヲ含メタル御答辯ガアツタノデスガ、「マッカーサー」司令官ノ方ニ於キマシテモ、此ノ兩都市ニ對スル同情ハ世界的ダト云フヤウニ承ツテ居ルノデ、日本政府ハ、斯ウ云フコトニ勇敢ニ應答スルコトニ依ツテ、寧ロ「アメリカ」ノ國民性ニ副ソヤウニナル場合ガ多イノデアリマスガ、動モスルト日本人ハ謙讓ノ美德ヲ發揮サレル爲ニ、損ヲスル場合ガアルノデアリマシテ、此ノ兩都市ノ問題ニ付テハ、司令部ノ諒解ヲ得ルヤウニ一層努メテ戴キタイト同時ニ、此ノ都市計畫法ノ御實施ニ當リマシテモ、被害ノ率、量ト云フモノガ他ノ都市ト同一デナイノデアリマシテ、唯廣島、長崎ニダケ特別ナ同情ト云フコトデナシニ、被害ノ率、量ト云フモノニ對シテノ國家ノ之ニ對スル適當ナル處置、斯ウ云フ點ニ一ツ一層御努力ヲ、是ハ御願ヒ致シテ置キマス

ソレカラ大體此ノ計畫法ニ於キマシテハ、國防ト云フコトガ全然從來ノ都市計畫ハ遠ツタ點ガ大キイノデアリマスガ、日本ハ平和國家ト致シマシテ、國際的ニ戰爭ト云フコトヲ一切豫想シナイデ立國ノ精神ガ立テラレテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ第三國ト第三國トノ戰爭ノ飛バツチヲ受ケナイト云フコトノ豫想ハ、日本ト雖モハ保障出來ヌノデヤナイカト思フノデアリマス、サウ云フ上カラ考ヘマスルト、戰爭拋棄ト云フコトガ全然都市計畫ノ中ニ無視サレテ居ルノハ、將來不安ナ點ガナイコトモナイノデヤナイカト私ハ思フノデアリマスガ、其ノ點ニ對スル御當局ノ御意見ヲ御漏ラシテ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ此ノ際承ツテ置キタイノハ、是ハ東京都内デモ隨所ニアルコトデ、各都市トモアルノデアリマスガ、墓地ノ整理ノ問題デアリマス、寺院墓地ト云フモノガ極メテ不整頓ニ無秩序ノ儘デ、日本ノ都市ガ整理サレテ居リマセヌガ、是ハ都市ノ美觀ノ上カラモ、又色々ノ問題カラモ、何トカ美化サレナケレバナラヌモノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ倍數ノ自由ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデ、徒ラニ撤去ヲ命ジタリト云フヤウナコトデモイケンイト思フノデアリマスガ、先ツ第一ニ墓地ト云フモノガ、一定ノ區劃ニ大體整理サレタ形ニ置カナケレバナラス、又寺院等ガ日本ニハ隨分澤山建テラレマスガ、今日ノ日本ノ社會教育等ノ必要ナ場合ニ、是ハ強制スル譯ニハ勿論參ラスノデアリマスガ、政府ハ進ンデ此ノ宗教團體等トモ御相談ノ上ニ、之ヲ公開サレルト云フコトニナリマスナラバ、都市ノ中ニ澤山必要ニナルドラウト思フノデアリマスシ、若シサウ云フコトガ出來ナイモノナラバ、此ノ寺院等モ一定ノ制限等ヲ加ヘナケレバ、都市ノ恰好ガ付カナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ノ御意見ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

ソレカラ次ニハ經濟ノ上カラ考ヘマシタ都市ハ、今日ノヤウナ日本ノ關商人、小賣商、色々ノドラシノナイ市場ト云フヤウナモノガ濫立シタ狀態デハ、是ハ都市ノ美觀ハ勿論ノコト、日本ノ經濟生活ガ破壞サレルコトダケハ間違ヒナイノデアリマシテ、將來國際的ナ經濟生活ノ上ニ立ツテノ國際競争ヲヤル場合ニ於テモ、先ツ小賣商等ニ付テハ、日本ノ小賣商ハ七八人カ一人ノ小賣商ヲ養フテ居ルヤウナコトデ、恐ラク諸外國ノ比率カラ申上ゲマスナラバ、何十倍ノ差ガアルト思フノデアリマス、サウ云フコト等モ考ヘマシテ、商業地域等ガ考ヘラレテ御計畫ニ入レラレテ居ルカドウカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマス

ソレカラ最後ニ、是ハサウ大キイ問題デハナイノデアリマス、前ニ御尋ネニナツタ方ガアツタヤウデアリマスガ、ソレト意味ガ同ジナンデスガ、關西ト關東ハ、何ト申シマスガ、私モ素人デスカラ能ク分リマセヌガ、建物ノ居間ナンカノ寸法ガ違ヒマスガ、之ヲ統一サレル御意思ガアルカドウカ、是ハ疊等ニ付キマシテモ、生産ノ上カラ言ツテモ、日本ニ於テハ統一スベキモノデハナイカト思フノデスガ、此ノ點ノ御意見ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、ソレカラ序ニ御尋ネシテ置キタイノハ、現在ノ都市ノ狀態ヲ見マスルト、資本主義經濟ノ上ニ立ツテ、打算ノ上ニ立ツテノ自然發展ト云フモノガ現在進行シツ、アルヤウニ私ハ見テ居ルノデアリマス、即チ映疊ダトカ、或ハ閣取引ヲヤツテ相當儲カル者ハ、建築物

デモ聞ラシテデモ金ハ幾ラ掛ツテモ
ドン／＼作ツテ行クガ、勤務階級ガ住マ
フ所ノ必要ナル住宅ト云フモノハ、勤
務階級自體ニモ建テラレナケレバ、之
ヲ建テタル家主モ、建テタトテ採算
ガ合ハナイカラ建テナイ、斯ウ云フ狀
態ニアルノデアリマシテ、是ハ御説明
ノ中ニハ、計畫ノ中ニ立ツテ住宅營團
トカ、或ハ其ノ他市營住宅等ノ公共團
體ヲシテ、相當ナル補助ヲ與ヘ資材ヲ
集メテ建テル、而モ二十五萬戸ノ中デ
十二萬四千戸ハサウ云フモノダト云フ
ヤウニ御説明ニナツタノデアリマス
ガ、之ヲモット積極的ニ、日本ノ今日
ノ實情カラ致シマス、本當ニ日本ノ
民主主義的國家ヲ建テ、而モ産業ノ
重要ナル役目ヲスル所ノ勤務階級ノ生活
ヲ護ツテヤルト云フ、近代のナ立場ニ
立ツテ考ヘマスナラバ、今日ノヤウナ
狀態デ、儲カル者ハドシ／＼資材モ闊
ヲシタリシテ、色々ナコトデ其ノ方ヘ
流レテ行ク、資力ノ少ナイ者ハ中々ソ
レガ實現シナイデ居ル、サウ云フコト
ガ弊害ノ元トナツテ、東京ニ於キマシ
テモ市中ニハ家ガナイカラ、朝晩郊外
ノ方カラ通フ爲ニ交通地獄ガ出現シテ
居ルト云フヤウナコトニモナツテ居ル
ノデアリマスガ、モット積極的ニ早ク
カラ、勤務階級ノ住宅ト云フモノニ對
シテ國ノ力デヤツテヤルベキモノデヤ
ナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點
ノ御所見ヲ御伺ヒシタイト思フノデア
リマス

○大橋政府委員 復興都市計畫ニ於キ
マシテ防空ノ問題デゴザイマスガ、戰
時中ニ於キマシテ都市計畫ト致シマシ
テノ防空ノ施設ハ、最モ顯著ナルモノ
ハ例ノ建物疎開デゴザイマス、建物疎
開ハ、大體都市ノ必要ナ區域ニ廣幅ノ

空地ヲ作リマシテ、之ニ依ツテ火災ノ
延燒ヲ豫防致シマスルト同時ニ、火災
ニ際シテ之ヲ退避路ニ使用スルト云フ
目的デ出來テ居ツタモノデゴザイマ
ス、尙ホ之ニ伴ヒマシテ密集住宅地區
ニ於キマシテハ、一部分ノ家屋ヲ除却
致シマシテ、其處ニ小空地ヲ作ル、又
堅牢ナル建築物ノ周邊ヲ——其ノ建物
ノ延燒ヲ防止致シマス爲ニ、周圍ノ木
造建築物ヲ撤去スルト云フヤウナ方法ニ
依リマシテ、都市ノ防空ノ強化ヲ圖ツ
タ譯デアリマス、併シナガラ何ヲ申シ
マシテモ我が國ノ殆ド全部ノ都市ハ、
其ノ大部分ノ建築物ガ木造建築デアリマ
シタ關係上、其ノ效果ハ極メテ制限セ
ラレタルモノニ過ギナカッタコトハ御
承知ノ通りデゴザイマス、今回ノ都市
計畫ニ於キマシテハ、別段將來ノ戰爭
ヲ豫想スルト申ス譯デハゴザイマセヌ
ガ、併シ凡ソ近代都市トシテ豫想シ得
ルヤウナ火災其ノ他ノ災害ヲ防禦致シ
マスルコトニ依リマシテ、市民ノ生活
ヲ護リ、市民ノ生活ニ安心ヲ與ヘル必
要ガアリマス、災害防止ト云フ見
地カラ、ヤハリ或ル種ノ施設ヲスルコ
トニ致シテ居リマス、特ニ是等ノ災害
防止ノ施設トシテ役立チ得ルモノハ、
道路ノ幅員ヲ廣クスルコト、ソレカラ
必要ナル諸所ニ廣幅員ノ綠地ヲ設ケル
コト、竝ニ其ノ幅員ノ廣イ道路、或ハ
綠地ノ周圍ニ、更ニ道路ナリ綠地ヲ防
禦シマスル爲ニ、其ノ道路、綠地ニ面
シタ建築物鐵筋「コンクリート」ノ防火
建築ニスルト云フヤウナコトガ必要ニ
ナルノデゴザイマシテ、今回ノ計畫ニ
於キマシテモ、出來ルダケ必要ナ箇所
ニハ市民ノ待避出來ルヤウナ道路又ハ
綠地、之ヲ守ルベキ防火地區ト云フ
ヤウナモノヲ設定スルコトニシテ居

リマス
ソレカラ墓地ノ整理ノ必要ナコト
ハ、各都市トモ痛感致シテ居ルノデゴ
ザイマシテ、特ニ區劃整理ニ於キマシ
テハ、墓地ノ整理ヲ併セテ施行スルコ
トニナツテ居リマス、又寺院ノ合併、
整備ト云フ問題デゴザイマスガ、是モ
一、二ノ都市ニ於キマシテハ特ニ佛教
ノ寺院ナドデ、同宗派ニ屬スル寺ハ
此ノ際整備シテ一括合祀スル、之ニ依
ツテ寺ノ敷地モ一箇所ニ纏マツタ結果
廣クナリ、立派ナ寺ニナル、アツチコ
ソチニ小サナ寺ノアルノヲ觀メルト云
フヤウナコトヲ考ヘテ居ル都市モゴザ
イマス、是等ノ墓地ノ整理ニ致シマシ
テモ、寺院ノ整備ニ致シマシテモ、何分
現在ノ實情デハ土地區劃整理ノ大體方
針ガ指定致シタバカリデゴザイマシ
テ、其ノ中味ハ是カラ決メテ行クコト
ニナルノデゴザイマシテ、當局ト致シ
マシテモ此ノ區劃整理ノ仕事ノ進行ニ
付キマシテハ、始終注意ヲ致シマシ
テ、出來ルダケサウ云フ方向ニ向ケテ
援助ヲシ、又之ヲ推進スルヤウニ努力
シタイト考ヘテ居リマス
ソレカラ小賣商ノ整備ニ伴フ市街地
ノ商業地區ノ決定デゴザイマスガ、是
ハ御述べニナリマシタヤウナ方針ノ下
ニ商業地域ヲ決定致シタイト思ツテ居
リマス
○中田政府委員 建築資材ノ規格ヲ全
國的ニ統一スルヤウニシタラドウカト
云フ御尋ネニ致シマシテハ、全ク同感
デゴザイマシテ、寸法ニ付キマシテハ
「メートル」制ノ採用ヲ極力進メテ居リ
マスシ、其ノ他ノ補助資材ニ付キマシ
テモ、御意見ノ通りニ是カラ努力シタ
イト考ヘテ居リマス
第二ニ庶民住宅ノ建築ハ國家的ニモ

ツト積極的ニ援助シテ造ルヤウニシナ
ケレバナラヌデハナイカ、此ノ御尋ネ
ニ付キマシテハ、洵ニ御説ノ通りデゴ
ザイマス、政府ニ於キマシテモ本年度
ノ建築、所謂住宅供給ノ計畫ハ正ニ庶
民階級ノ一新圓生活ニ於テ新圓ノ獲得
ノ中々困難ナ階級、是ニハドウシテモ
低廉家賃ノ住宅ノ供給ニ著意ヲ致シマ
シテ、財政的措置ニ付テ目下努力シテ
居ル次第デゴザイマス、數ハ十二萬數
千戸デ、或ハ御不満デハゴザイマセウ
ガ、極力是ガ實現ニ努力シタイト思ヒ
マス、唯資材等ノ關係上、色々隘路ガ
ゴザイマシテ、例ヘバ「セメント」ヲ造
ルニ致シマシテモ先立ツモノハ石炭デ
アル、鐵鋼ニシマシテモ製鐵ノ今ノ生
産力ヲ以テシテハ、中々住宅用ノ分量
ガ多クナラナイ、木材ニ付キマシテモ
輸送ノ隘路等モゴザイマシテ、中々大
都市ヘノ移出ハ困難デアルト云フヤウ
ナ、所謂資材面ノ隘路ハ容易ナラヌ問
題デゴザイマスガ、極力政府ハ努力シ
テ庶民階級ノ住宅供給ニ邁進スル詰リ
デゴザイマス
○前田委員 是デ打切リマス
○林田委員 是デ打切リマス
ノ通告ガ殘ツテ居リマス、政府ノ國土
省設置ニ關スル吉田總理大臣ノ答辯、
ソレカラ先程ノ西村君ノ御質問ニ對ス
ル逡巡省ノ答辯ガ殘ツテ居リマス、此
ノ二ツノ答辯ト細川君ノ御質問ヲ次會
ニ譲リタイト思ヒマスガ御異議アリマ
セヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○林田委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ
散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御知
ラセ致シマス
午後三時十七分散會

昭和二十一年八月七日印刷

昭和二十一年八月八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局